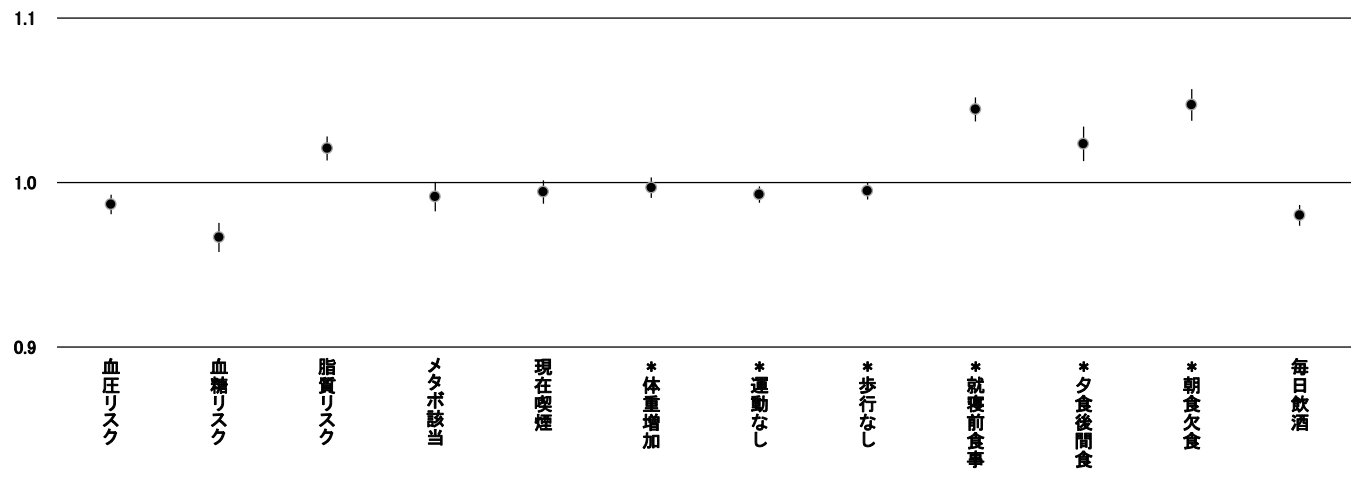
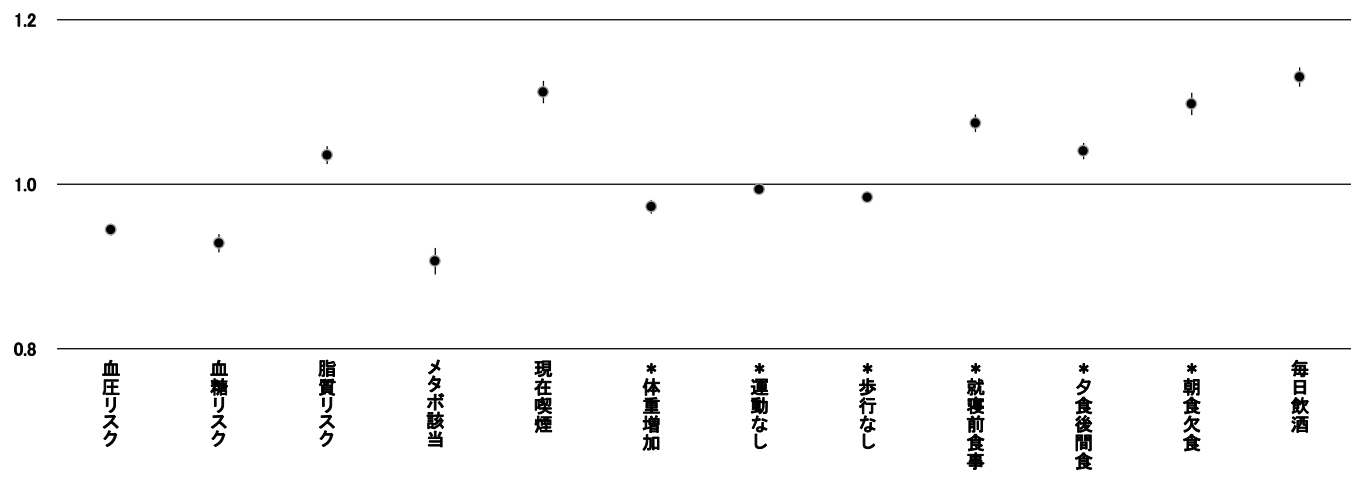


# 京都市

京都市 標準化該当比(男性)



京都市 標準化該当比(女性)



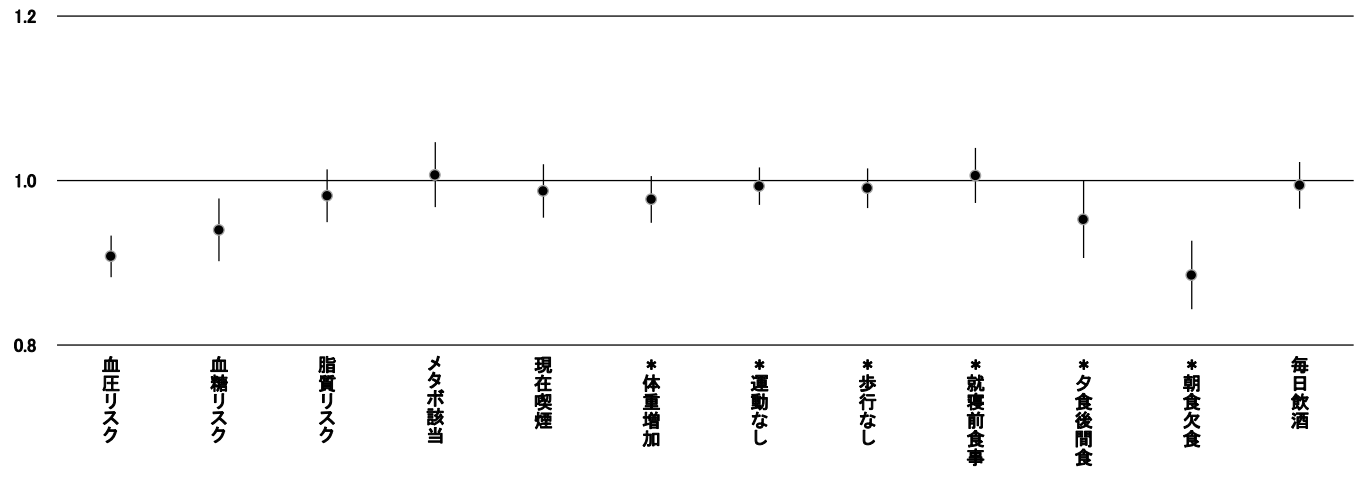
項目	男性				女性			
	標準化 該当比	95%信頼区間		P値	標準化 該当比	95%信頼区間		P値
		信頼下限	信頼上限			信頼下限	信頼上限	
血圧リスク	0.99	0.98	0.99	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.94	0.94	0.95	$<1.00 \times 10^{-4}$
血糖リスク	0.97	0.96	0.98	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.93	0.92	0.94	$<1.00 \times 10^{-4}$
脂質リスク	1.02	1.01	1.03	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.04	1.02	1.05	$<1.00 \times 10^{-4}$
メタボ該当	0.99	0.98	1.00	$6.08 \times 10^{-2}$	0.91	0.89	0.92	$<1.00 \times 10^{-4}$
現在喫煙	0.99	0.99	1.00	$1.12 \times 10^{-1}$	1.11	1.10	1.13	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 体重増加	1.00	0.99	1.00	$3.39 \times 10^{-1}$	0.97	0.96	0.98	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 運動なし	0.99	0.99	1.00	$4.59 \times 10^{-3}$	0.99	0.99	1.00	$1.05 \times 10^{-2}$
* 歩行なし	0.99	0.99	1.00	$6.18 \times 10^{-2}$	0.98	0.98	0.99	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 就寝前食事	1.04	1.04	1.05	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.07	1.06	1.09	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 夕食後間食	1.02	1.01	1.03	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.04	1.03	1.05	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 朝食欠食	1.05	1.04	1.06	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.10	1.08	1.11	$<1.00 \times 10^{-4}$
毎日飲酒	0.98	0.97	0.99	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.13	1.12	1.14	$<1.00 \times 10^{-4}$

(上記グラフと表は、平成27・28・29年度 市町村国保 及び 協会けんぽ 特定健診結果合算データによる)

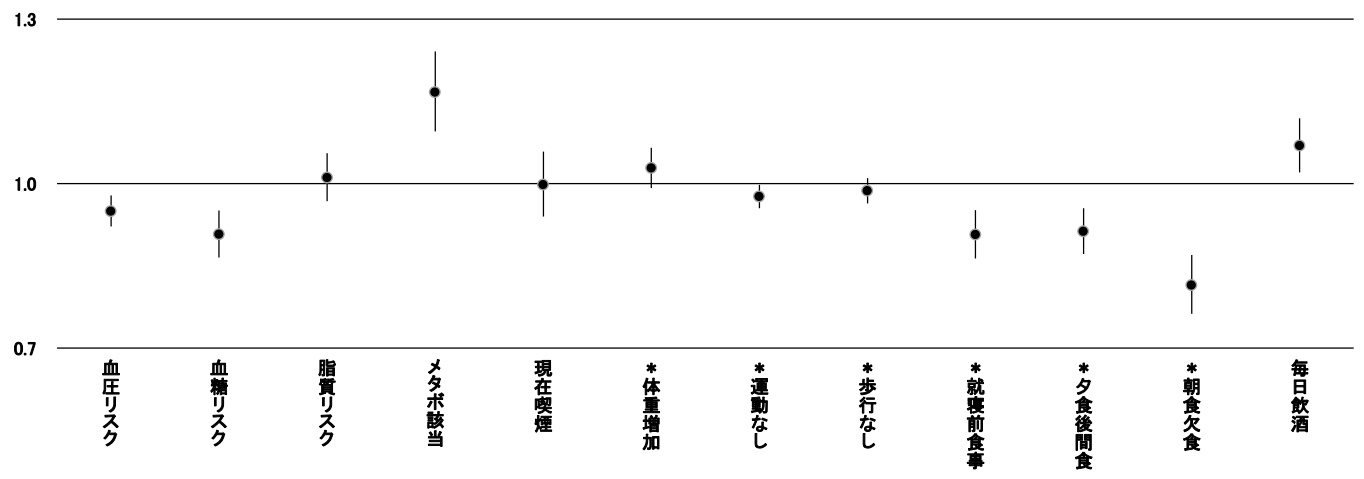
・\* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。  
 ・標準化該当比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化該当比]倍」と解釈する。すなわち、標準化該当比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。  
 ・グラフ中のエラーバーは95%信頼区間(CI)であり、計算により求めた標準化該当比の推定精度を表す。CIが狭ければ精度は高く(実際の値に近く)、広ければ精度は低い(実際の値から離れている恐れがある)。

# 向日市

向日市 標準化該当比(男性)



向日市 標準化該当比(女性)



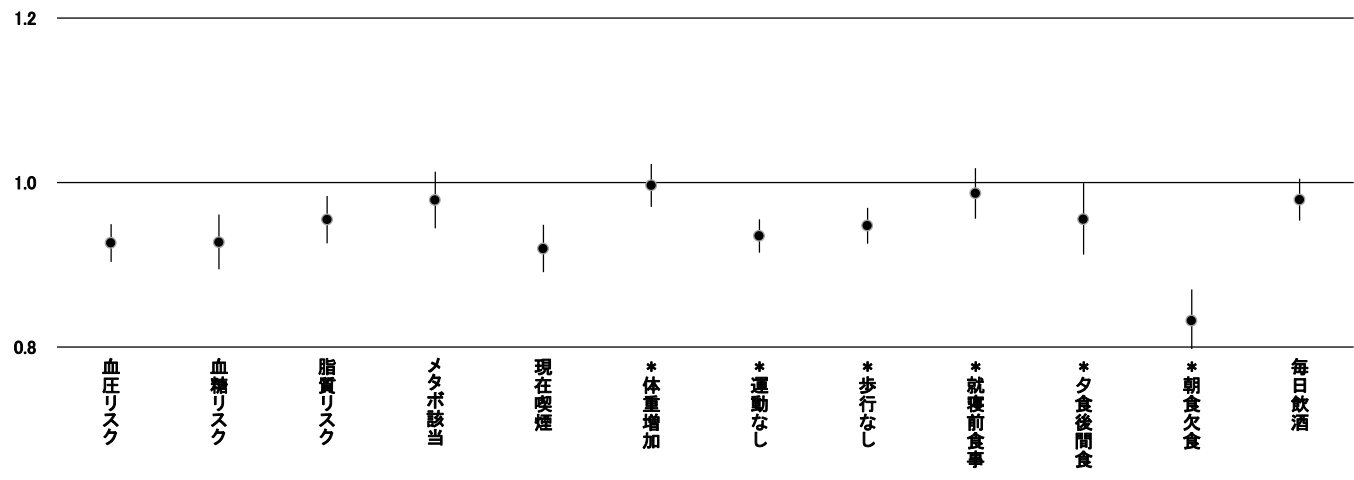
項目	男性				女性			
	標準化 該当比	95%信頼区間		P値	標準化 該当比	95%信頼区間		P値
		信頼下限	信頼上限			信頼下限	信頼上限	
血圧リスク	0.91	0.88	0.93	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.95	0.92	0.98	$6.97 \times 10^{-4}$
血糖リスク	0.94	0.90	0.98	$2.44 \times 10^{-3}$	0.91	0.87	0.95	$<1.00 \times 10^{-4}$
脂質リスク	0.98	0.95	1.01	$2.59 \times 10^{-1}$	1.01	0.97	1.06	$6.27 \times 10^{-1}$
メタボ該当	1.01	0.97	1.05	$7.45 \times 10^{-1}$	1.17	1.10	1.24	$<1.00 \times 10^{-4}$
現在喫煙	0.99	0.95	1.02	$4.39 \times 10^{-1}$	1.00	0.94	1.06	$9.55 \times 10^{-1}$
* 体重増加	0.98	0.95	1.01	$1.17 \times 10^{-1}$	1.03	0.99	1.07	$1.25 \times 10^{-1}$
* 運動なし	0.99	0.97	1.02	$5.54 \times 10^{-1}$	0.98	0.96	1.00	$2.98 \times 10^{-2}$
* 歩行なし	0.99	0.97	1.01	$4.45 \times 10^{-1}$	0.99	0.96	1.01	$2.66 \times 10^{-1}$
* 就寝前食事	1.01	0.97	1.04	$7.36 \times 10^{-1}$	0.91	0.86	0.95	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 夕食後間食	0.95	0.91	1.00	$5.34 \times 10^{-2}$	0.91	0.87	0.96	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 朝食欠食	0.88	0.84	0.93	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.82	0.76	0.87	$<1.00 \times 10^{-4}$
毎日飲酒	0.99	0.97	1.02	$6.83 \times 10^{-1}$	1.07	1.02	1.12	$4.43 \times 10^{-3}$

(上記グラフと表は、平成27・28・29年度 市町村国保 及び 協会けんぽ 特定健診結果合算データによる)

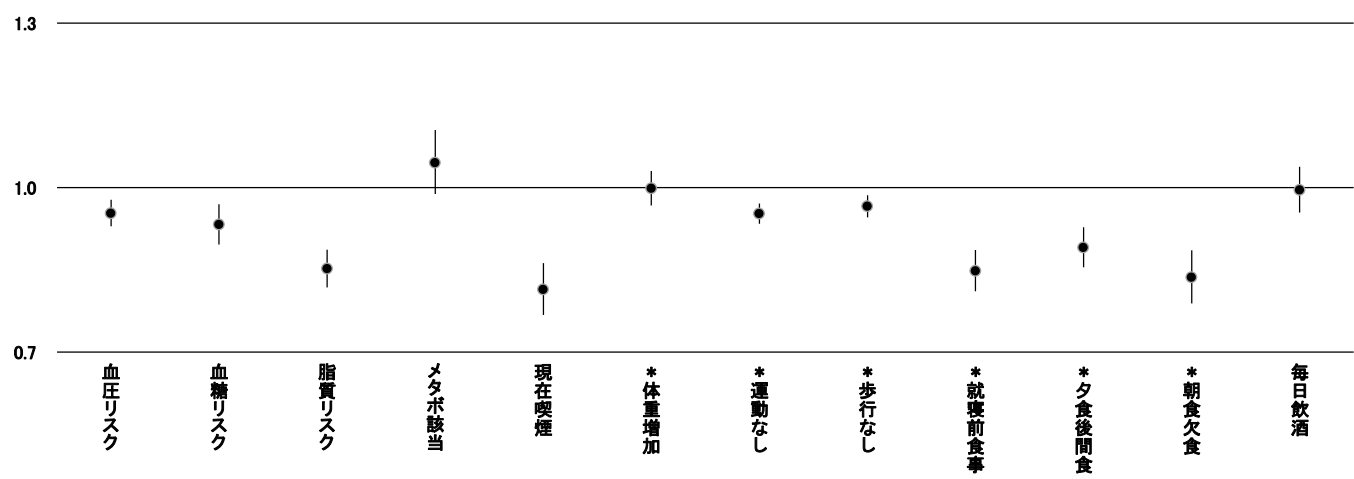
・\* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。  
 ・標準化該当比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化該当比]倍」と解釈する。すなわち、標準化該当比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。  
 ・グラフ中のエラーバーは95%信頼区間(CI)であり、計算により求めた標準化該当比の推定精度を表す。CIが狭ければ精度は高く(実際の値に近く)、広ければ精度は低い(実際の値から離れている恐れがある)。

# 長岡京市

長岡京市 標準化該当比(男性)



長岡京市 標準化該当比(女性)



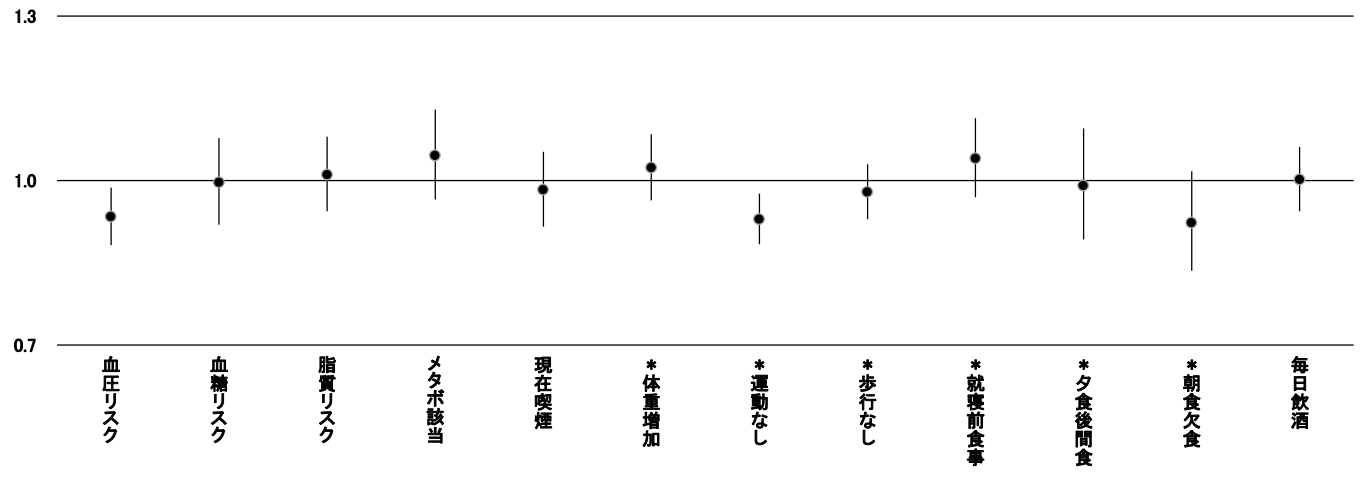
項目	男性				女性			
	標準化 該当比	95%信頼区間		P値	標準化 該当比	95%信頼区間		P値
		信頼下限	信頼上限			信頼下限	信頼上限	
血圧リスク	0.93	0.90	0.95	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.95	0.93	0.98	$2.11 \times 10^{-4}$
血糖リスク	0.93	0.89	0.96	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.93	0.90	0.97	$4.93 \times 10^{-4}$
脂質リスク	0.95	0.93	0.98	$2.41 \times 10^{-3}$	0.85	0.82	0.89	$<1.00 \times 10^{-4}$
メタボ該当	0.98	0.94	1.01	$2.28 \times 10^{-1}$	1.05	0.99	1.11	$1.18 \times 10^{-1}$
現在喫煙	0.92	0.89	0.95	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.81	0.77	0.86	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 体重増加	1.00	0.97	1.02	$7.87 \times 10^{-1}$	1.00	0.97	1.03	$9.32 \times 10^{-1}$
* 運動なし	0.93	0.91	0.96	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.95	0.93	0.97	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 歩行なし	0.95	0.93	0.97	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.97	0.95	0.99	$1.01 \times 10^{-3}$
* 就寝前食事	0.99	0.96	1.02	$3.97 \times 10^{-1}$	0.85	0.81	0.89	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 夕食後間食	0.96	0.91	1.00	$4.81 \times 10^{-2}$	0.89	0.86	0.93	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 朝食欠食	0.83	0.79	0.87	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.84	0.79	0.89	$<1.00 \times 10^{-4}$
毎日飲酒	0.98	0.95	1.00	$1.09 \times 10^{-1}$	1.00	0.95	1.04	$8.42 \times 10^{-1}$

(上記グラフと表は、平成27・28・29年度 市町村国保 及び 協会けんぽ 特定健診結果合算データによる)

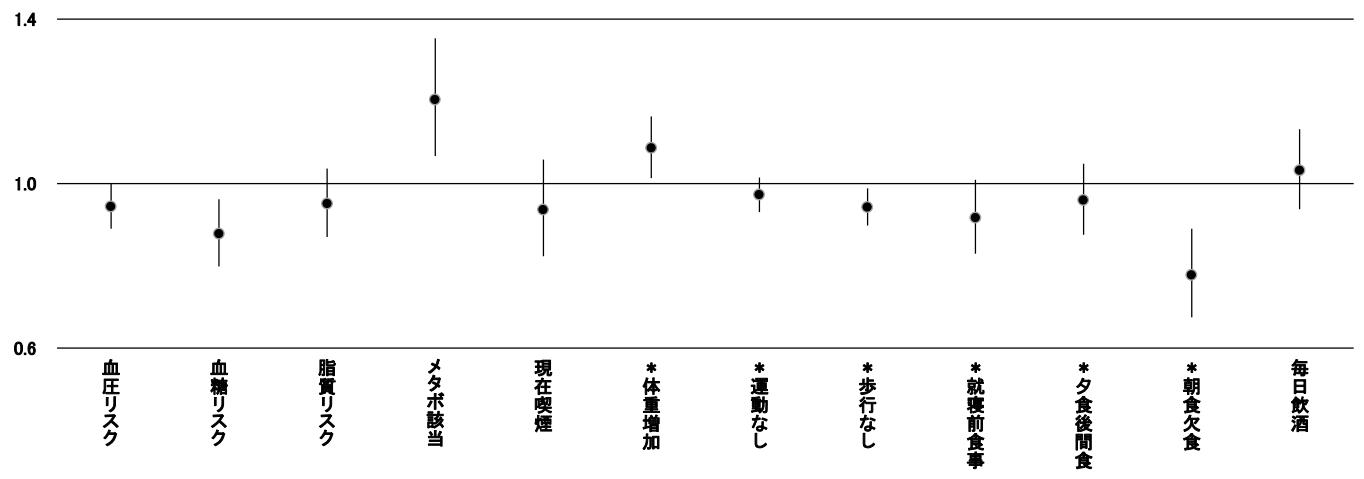
・\* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。  
 ・標準化該当比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化該当比]倍」と解釈する。すなわち、標準化該当比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。  
 ・グラフ中のエラーバーは95%信頼区間(CI)であり、計算により求めた標準化該当比の推定精度を表す。CIが狭ければ精度は高く(実際の値に近く)、広ければ精度は低い(実際の値から離れている恐れがある)。

# 大山崎町

大山崎町 標準化該当比(男性)



大山崎町 標準化該当比(女性)



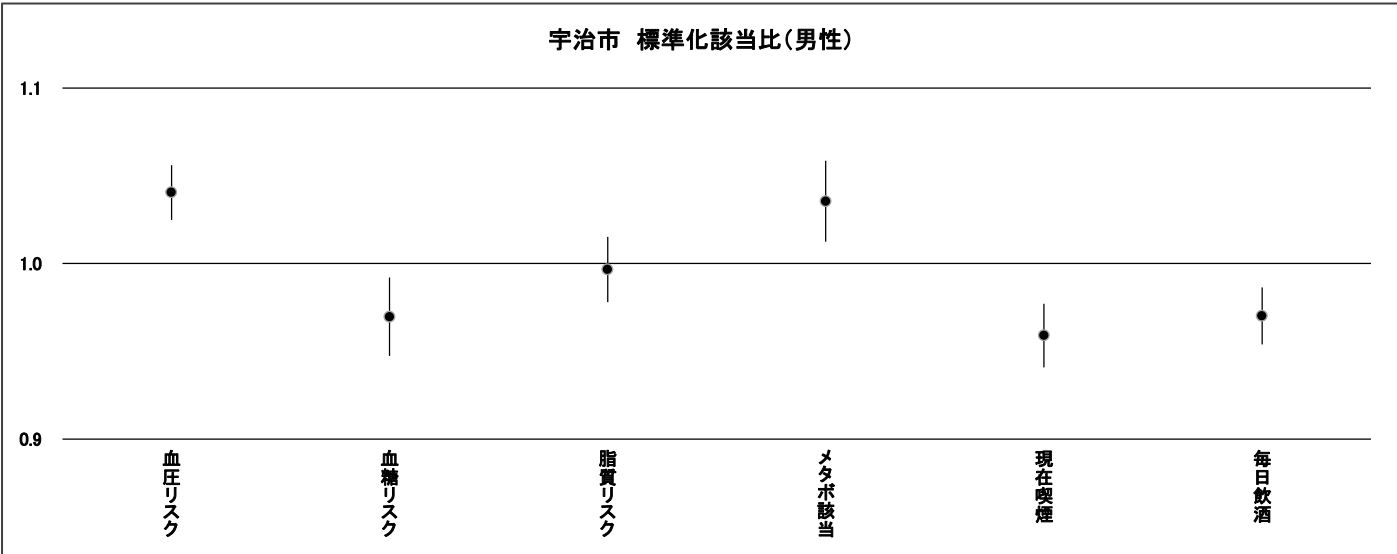
項目	男性				女性			
	標準化 該当比	95%信頼区間		P値	標準化 該当比	95%信頼区間		P値
		信頼下限	信頼上限			信頼下限	信頼上限	
血圧リスク	0.93	0.88	0.99	$1.70 \times 10^{-2}$	0.94	0.89	1.00	$5.13 \times 10^{-2}$
血糖リスク	1.00	0.92	1.08	$9.44 \times 10^{-1}$	0.88	0.80	0.96	$5.78 \times 10^{-3}$
脂質リスク	1.01	0.94	1.08	$7.74 \times 10^{-1}$	0.95	0.87	1.04	$2.60 \times 10^{-1}$
メタボ該当	1.05	0.97	1.13	$2.73 \times 10^{-1}$	1.20	1.07	1.35	$2.13 \times 10^{-3}$
現在喫煙	0.98	0.92	1.05	$6.30 \times 10^{-1}$	0.94	0.82	1.06	$3.05 \times 10^{-1}$
* 体重増加	1.02	0.96	1.08	$4.52 \times 10^{-1}$	1.09	1.01	1.16	$1.83 \times 10^{-2}$
* 運動なし	0.93	0.88	0.98	$3.54 \times 10^{-3}$	0.97	0.93	1.02	$2.06 \times 10^{-1}$
* 歩行なし	0.98	0.93	1.03	$4.17 \times 10^{-1}$	0.94	0.90	0.99	$1.53 \times 10^{-2}$
* 就寝前食事	1.04	0.97	1.11	$2.68 \times 10^{-1}$	0.92	0.83	1.01	$8.17 \times 10^{-2}$
* 夕食後間食	0.99	0.89	1.10	$8.69 \times 10^{-1}$	0.96	0.88	1.05	$3.72 \times 10^{-1}$
* 朝食欠食	0.92	0.84	1.02	$1.10 \times 10^{-1}$	0.78	0.67	0.89	$3.06 \times 10^{-4}$
毎日飲酒	1.00	0.94	1.06	$9.68 \times 10^{-1}$	1.03	0.94	1.13	$5.26 \times 10^{-1}$

(上記グラフと表は、平成27・28・29年度 市町村国保 及び 協会けんぽ 特定健診結果合算データによる)

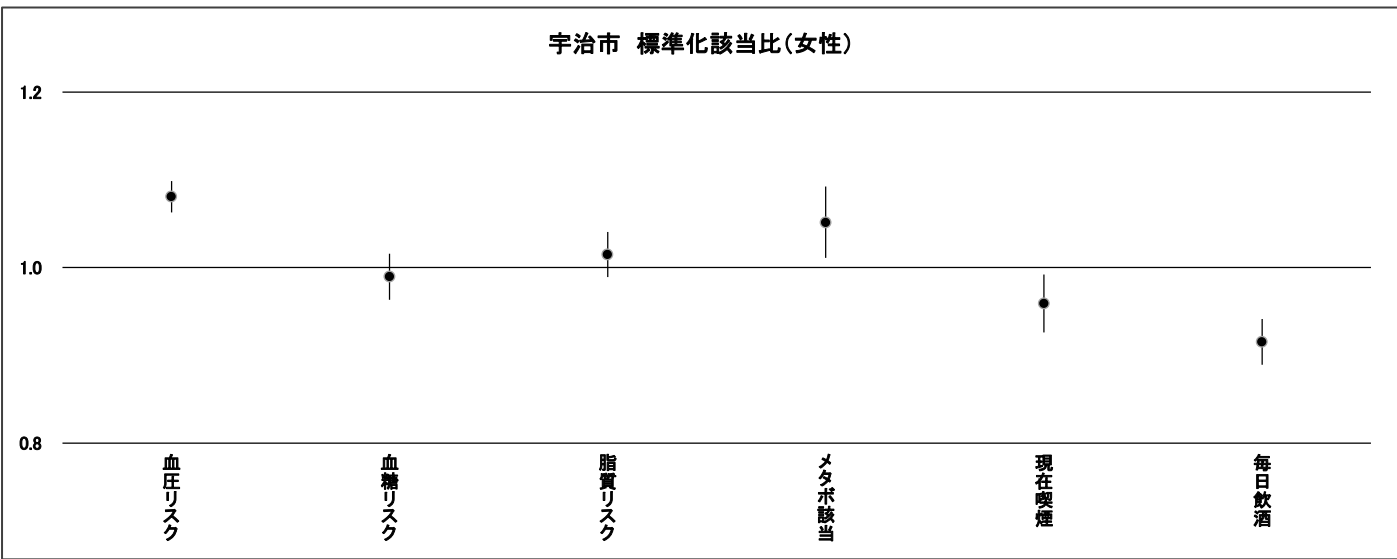
・\* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。  
 ・標準化該当比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化該当比]倍」と解釈する。すなわち、標準化該当比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。  
 ・グラフ中のエラーバーは95%信頼区間(CI)であり、計算により求めた標準化該当比の推定精度を表す。CIが狭ければ精度は高く(実際の値に近く)、広ければ精度は低い(実際の値から離れている恐れがある)。

# 宇治市

宇治市 標準化該当比(男性)



宇治市 標準化該当比(女性)



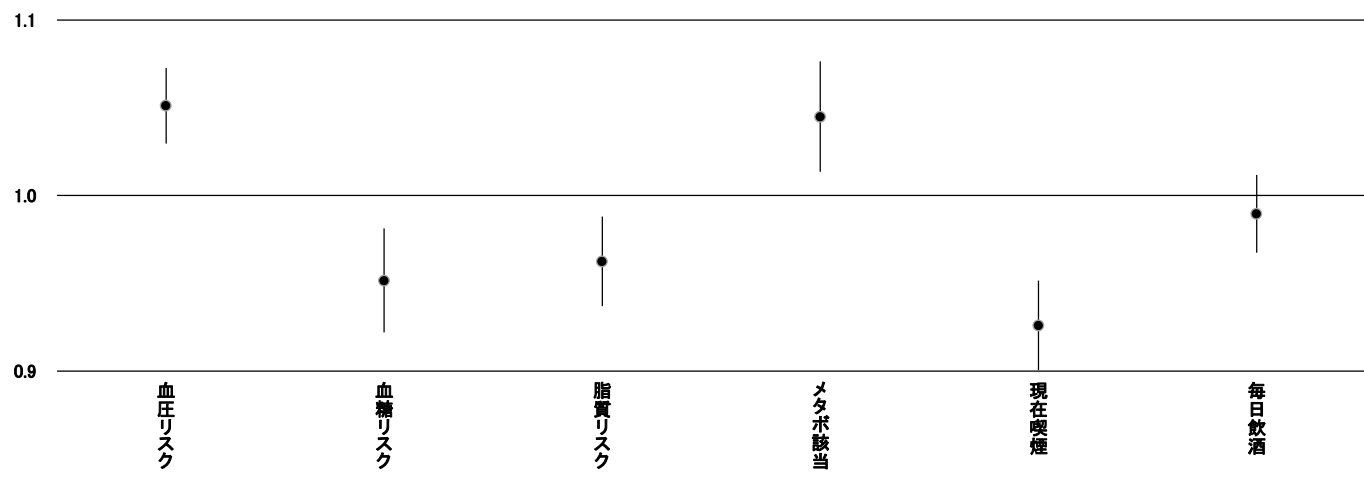
項目	男性				女性			
	標準化 該当比	95%信頼区間		P値	標準化 該当比	95%信頼区間		P値
		信頼下限	信頼上限			信頼下限	信頼上限	
血圧リスク	1.04	1.02	1.06	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.08	1.06	1.10	$<1.00 \times 10^{-4}$
血糖リスク	0.97	0.95	0.99	$8.48 \times 10^{-3}$	0.99	0.96	1.02	$4.32 \times 10^{-1}$
脂質リスク	1.00	0.98	1.02	$7.19 \times 10^{-1}$	1.01	0.99	1.04	$2.61 \times 10^{-1}$
メタボ該当	1.04	1.01	1.06	$2.17 \times 10^{-3}$	1.05	1.01	1.09	$1.15 \times 10^{-2}$
現在喫煙	0.96	0.94	0.98	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.96	0.93	0.99	$1.65 \times 10^{-2}$
* 体重増加	—	—	—	—	—	—	—	—
* 運動なし	—	—	—	—	—	—	—	—
* 歩行なし	—	—	—	—	—	—	—	—
* 就寝前食事	—	—	—	—	—	—	—	—
* 夕食後間食	—	—	—	—	—	—	—	—
* 朝食欠食	—	—	—	—	—	—	—	—
毎日飲酒	0.97	0.95	0.99	$3.75 \times 10^{-4}$	0.92	0.89	0.94	$<1.00 \times 10^{-4}$

(上記グラフと表は、平成27・28・29年度 市町村国保 及び 協会けんぽ 特定健診結果合算データによる)

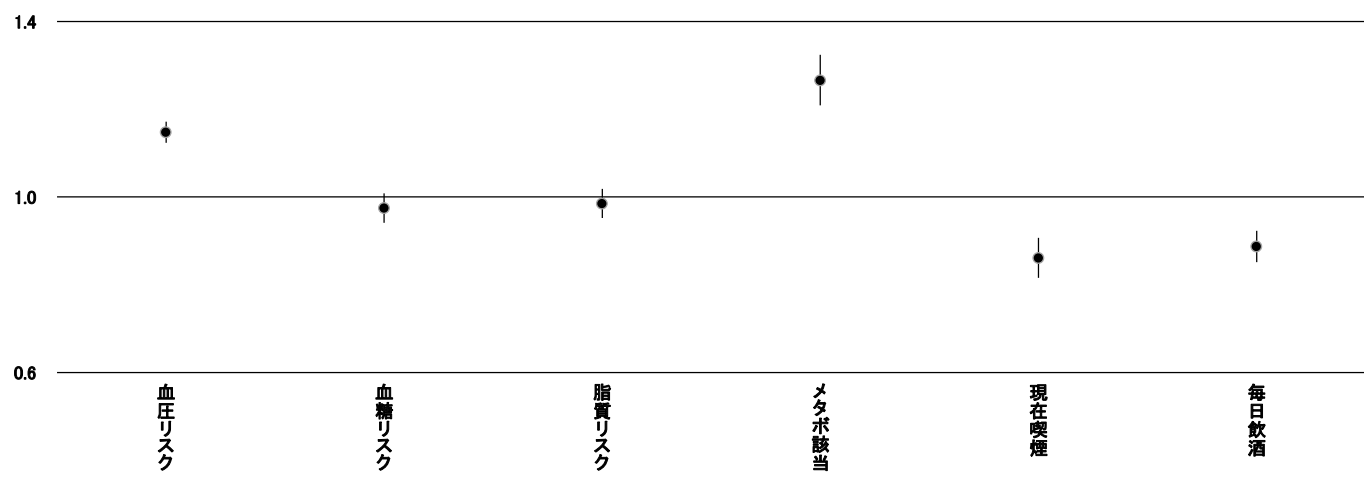
・ \* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。  
 ・ 標準化該当比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化該当比]倍」と解釈する。すなわち、標準化該当比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。  
 ・ グラフ中のエラーバーは95%信頼区間(CI)であり、計算により求めた標準化該当比の推定精度を表す。CIが狭ければ精度は高く(実際の値に近く)、広ければ精度は低い(実際の値から離れている恐れがある)。

# 城陽市

城陽市 標準化該当比(男性)



城陽市 標準化該当比(女性)



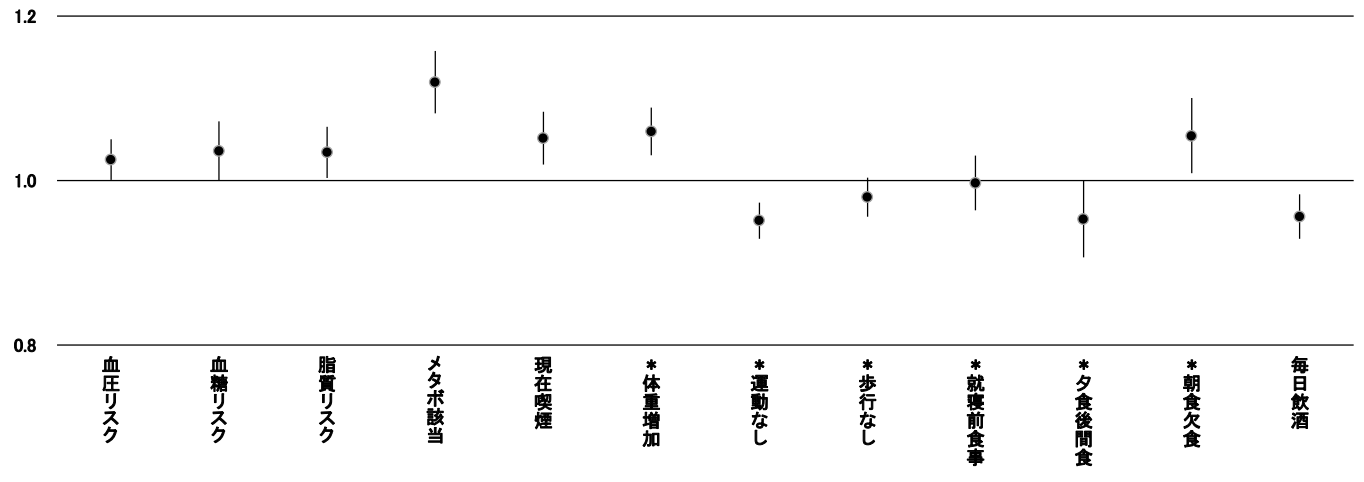
項目	男性				女性			
	標準化 該当比	95%信頼区間		P値	標準化 該当比	95%信頼区間		P値
		信頼下限	信頼上限			信頼下限	信頼上限	
血圧リスク	1.05	1.03	1.07	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.15	1.12	1.17	$<1.00 \times 10^{-4}$
血糖リスク	0.95	0.92	0.98	$1.65 \times 10^{-3}$	0.97	0.94	1.01	$1.41 \times 10^{-1}$
脂質リスク	0.96	0.94	0.99	$4.31 \times 10^{-3}$	0.98	0.95	1.02	$3.78 \times 10^{-1}$
メタボ該当	1.04	1.01	1.08	$4.35 \times 10^{-3}$	1.27	1.21	1.32	$<1.00 \times 10^{-4}$
現在喫煙	0.93	0.90	0.95	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.86	0.82	0.91	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 体重増加	—	—	—	—	—	—	—	—
* 運動なし	—	—	—	—	—	—	—	—
* 歩行なし	—	—	—	—	—	—	—	—
* 就寝前食事	—	—	—	—	—	—	—	—
* 夕食後間食	—	—	—	—	—	—	—	—
* 朝食欠食	—	—	—	—	—	—	—	—
毎日飲酒	0.99	0.97	1.01	$3.53 \times 10^{-1}$	0.89	0.85	0.92	$<1.00 \times 10^{-4}$

(上記グラフと表は、平成27・28・29年度 市町村国保 及び 協会けんぽ 特定健診結果合算データによる)

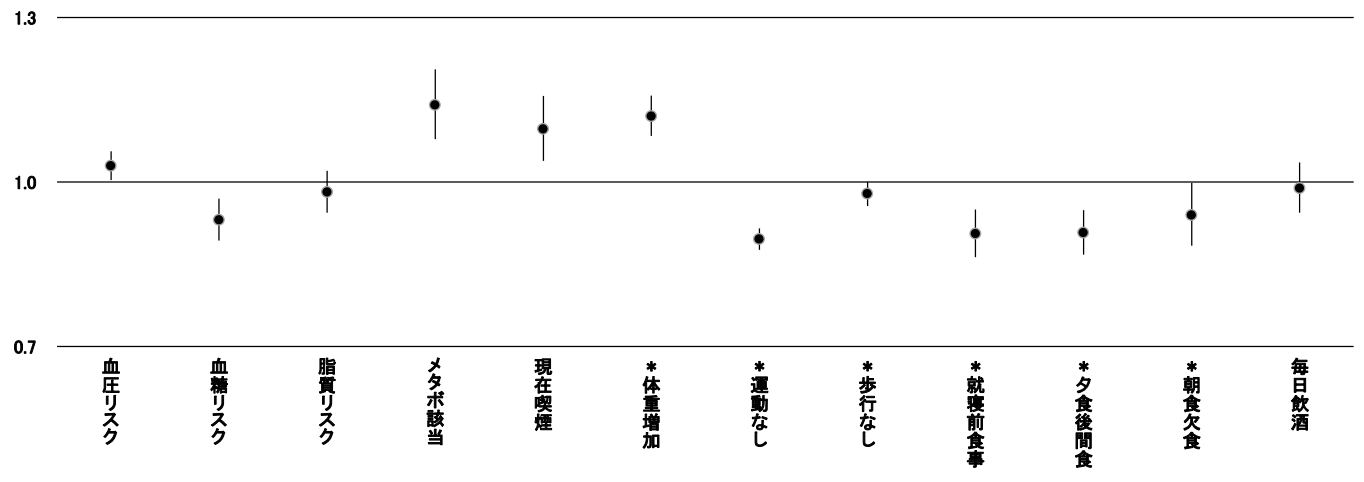
・\* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。  
 ・標準化該当比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化該当比]倍」と解釈する。すなわち、標準化該当比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。  
 ・グラフ中のエラーバーは95%信頼区間(CI)であり、計算により求めた標準化該当比の推定精度を表す。CIが狭ければ精度は高く(実際の値に近く)、広ければ精度は低い(実際の値から離れている恐れがある)。

# 八幡市

八幡市 標準化該当比(男性)



八幡市 標準化該当比(女性)



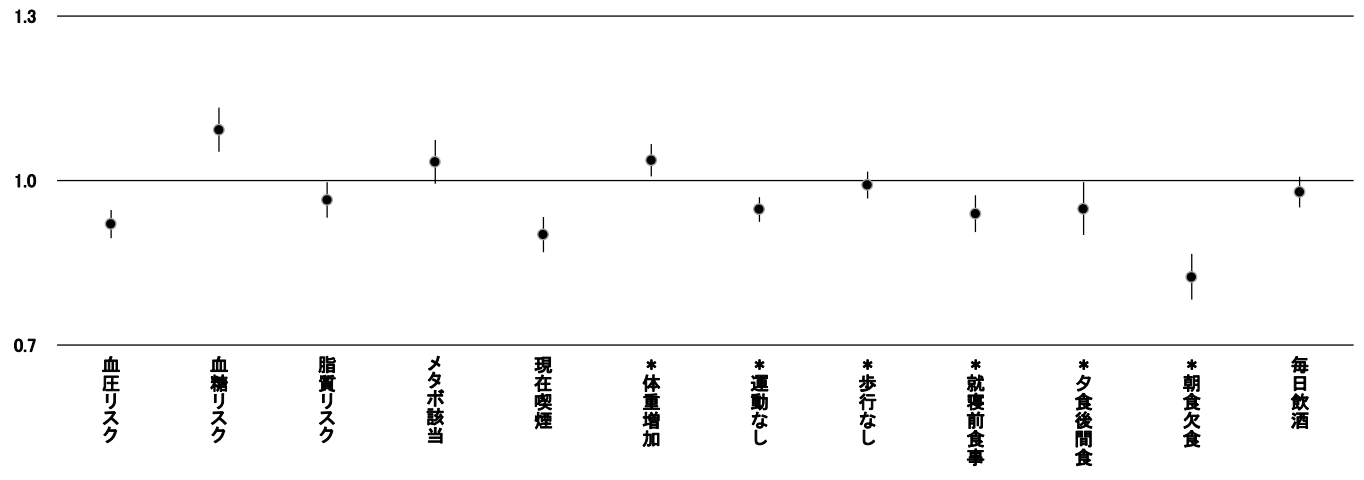
項目	男性				女性			
	標準化 該当比	95%信頼区間		P値	標準化 該当比	95%信頼区間		P値
		信頼下限	信頼上限			信頼下限	信頼上限	
血圧リスク	1.03	1.00	1.05	$4.30 \times 10^{-2}$	1.03	1.00	1.06	$2.39 \times 10^{-2}$
血糖リスク	1.04	1.00	1.07	$4.92 \times 10^{-2}$	0.93	0.89	0.97	$6.04 \times 10^{-4}$
脂質リスク	1.03	1.00	1.07	$2.89 \times 10^{-2}$	0.98	0.94	1.02	$3.62 \times 10^{-1}$
メタボ該当	1.12	1.08	1.16	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.14	1.08	1.21	$<1.00 \times 10^{-4}$
現在喫煙	1.05	1.02	1.08	$1.32 \times 10^{-3}$	1.10	1.04	1.16	$7.58 \times 10^{-4}$
* 体重増加	1.06	1.03	1.09	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.12	1.08	1.16	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 運動なし	0.95	0.93	0.97	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.90	0.88	0.92	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 歩行なし	0.98	0.96	1.00	$9.71 \times 10^{-2}$	0.98	0.96	1.00	$6.18 \times 10^{-2}$
* 就寝前食事	1.00	0.96	1.03	$8.58 \times 10^{-1}$	0.91	0.86	0.95	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 夕食後間食	0.95	0.91	1.00	$5.25 \times 10^{-2}$	0.91	0.87	0.95	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 朝食欠食	1.05	1.01	1.10	$1.72 \times 10^{-2}$	0.94	0.88	1.00	$4.54 \times 10^{-2}$
毎日飲酒	0.96	0.93	0.98	$1.87 \times 10^{-3}$	0.99	0.94	1.04	$6.44 \times 10^{-1}$

(上記グラフと表は、平成27・28・29年度 市町村国保 及び 協会けんぽ 特定健診結果合算データによる)

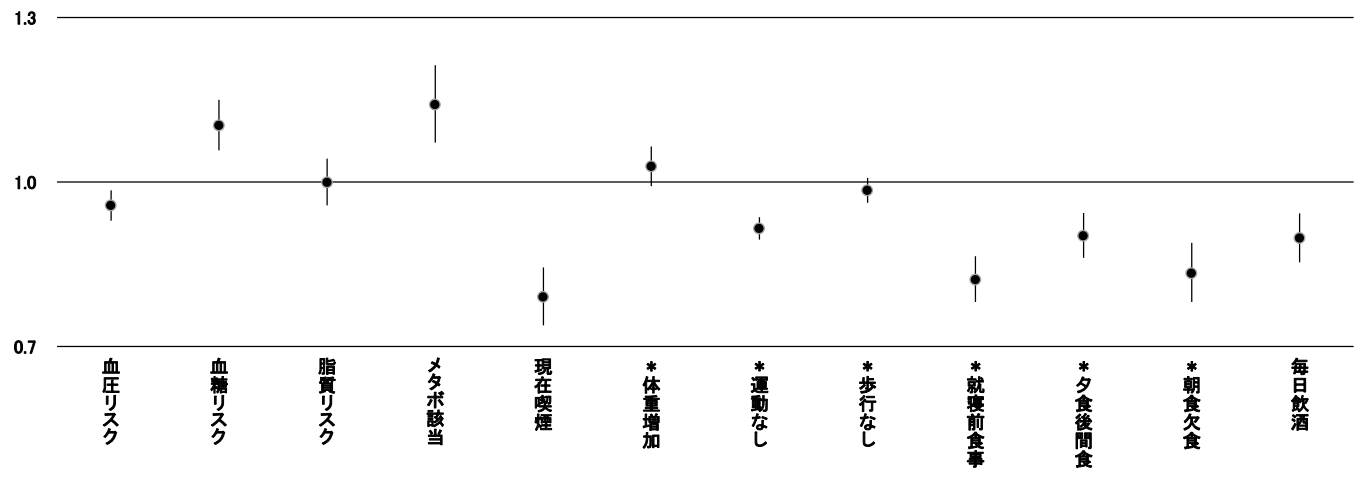
・\* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。  
 ・標準化該当比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化該当比]倍」と解釈する。すなわち、標準化該当比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。  
 ・グラフ中のエラーバーは95%信頼区間(CI)であり、計算により求めた標準化該当比の推定精度を表す。CIが狭ければ精度は高く(実際の値に近く)、広ければ精度は低い(実際の値から離れている恐れがある)。

# 京田辺市

京田辺市 標準化該当比(男性)



京田辺市 標準化該当比(女性)



項目	男性				女性			
	標準化 該当比	95%信頼区間		P値	標準化 該当比	95%信頼区間		P値
		信頼下限	信頼上限			信頼下限	信頼上限	
血圧リスク	0.92	0.90	0.95	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.96	0.93	0.99	$3.03 \times 10^{-3}$
血糖リスク	1.09	1.05	1.13	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.10	1.06	1.15	$<1.00 \times 10^{-4}$
脂質リスク	0.96	0.93	1.00	$3.48 \times 10^{-2}$	1.00	0.96	1.04	$9.86 \times 10^{-1}$
メタボ該当	1.03	0.99	1.07	$9.18 \times 10^{-2}$	1.14	1.07	1.21	$<1.00 \times 10^{-4}$
現在喫煙	0.90	0.87	0.93	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.79	0.74	0.84	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 体重増加	1.04	1.01	1.07	$1.31 \times 10^{-2}$	1.03	0.99	1.07	$1.19 \times 10^{-1}$
* 運動なし	0.95	0.92	0.97	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.92	0.90	0.94	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 歩行なし	0.99	0.97	1.02	$5.05 \times 10^{-1}$	0.98	0.96	1.01	$1.93 \times 10^{-1}$
* 就寝前食事	0.94	0.91	0.97	$5.26 \times 10^{-4}$	0.82	0.78	0.86	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 夕食後間食	0.95	0.90	1.00	$3.91 \times 10^{-2}$	0.90	0.86	0.94	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 朝食欠食	0.82	0.78	0.87	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.83	0.78	0.89	$<1.00 \times 10^{-4}$
毎日飲酒	0.98	0.95	1.01	$1.44 \times 10^{-1}$	0.90	0.85	0.94	$<1.00 \times 10^{-4}$

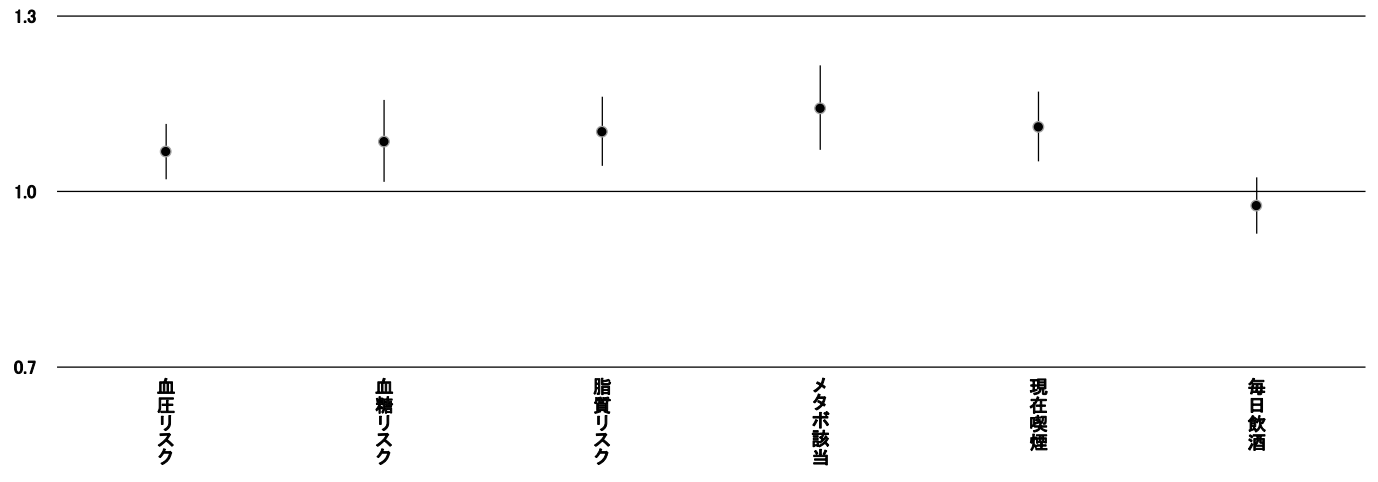
(上記グラフと表は、平成27・28・29年度 市町村国保 及び 協会けんぽ 特定健診結果合算データによる)

・\* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。  
 ・標準化該当比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化該当比]倍」と解釈する。すなわち、標準化該当比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。  
 ・グラフ中のエラーバーは95%信頼区間(CI)であり、計算により求めた標準化該当比の推定精度を表す。CIが狭ければ精度は高く(実際の値に近く)、広ければ精度は低い(実際の値から離れている恐れがある)。

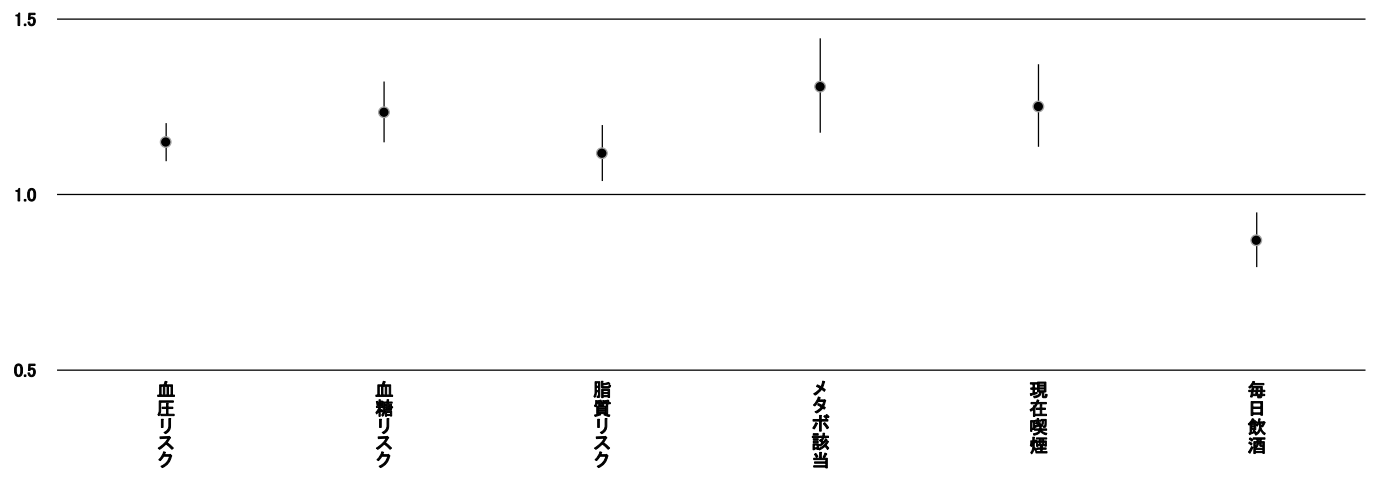


## 久御山町

久御山町 標準化該当比(男性)



久御山町 標準化該当比(女性)



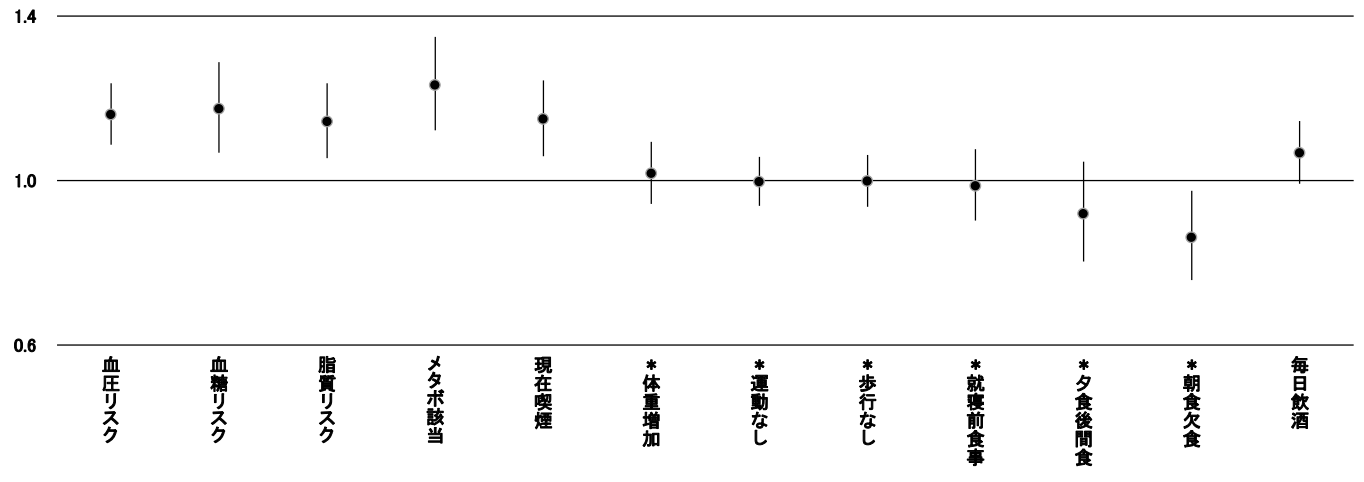
項目	男性				女性			
	標準化 該当比	95%信頼区間		P値	標準化 該当比	95%信頼区間		P値
		信頼下限	信頼上限			信頼下限	信頼上限	
血圧リスク	1.07	1.02	1.12	$3.80 \times 10^{-3}$	1.15	1.10	1.20	$<1.00 \times 10^{-4}$
血糖リスク	1.08	1.02	1.16	$1.33 \times 10^{-2}$	1.23	1.15	1.32	$<1.00 \times 10^{-4}$
脂質リスク	1.10	1.04	1.16	$3.74 \times 10^{-4}$	1.12	1.04	1.20	$2.58 \times 10^{-3}$
メタボ該当	1.14	1.07	1.22	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.31	1.18	1.45	$<1.00 \times 10^{-4}$
現在喫煙	1.11	1.05	1.17	$1.26 \times 10^{-4}$	1.25	1.14	1.37	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 体重増加	—	—	—	—	—	—	—	—
* 運動なし	—	—	—	—	—	—	—	—
* 歩行なし	—	—	—	—	—	—	—	—
* 就寝前食事	—	—	—	—	—	—	—	—
* 夕食後間食	—	—	—	—	—	—	—	—
* 朝食欠食	—	—	—	—	—	—	—	—
毎日飲酒	0.98	0.93	1.02	$3.23 \times 10^{-1}$	0.87	0.79	0.95	$2.04 \times 10^{-3}$

(上記グラフと表は、平成27・28・29年度 市町村国保 及び 協会けんぽ 特定健診結果合算データによる)

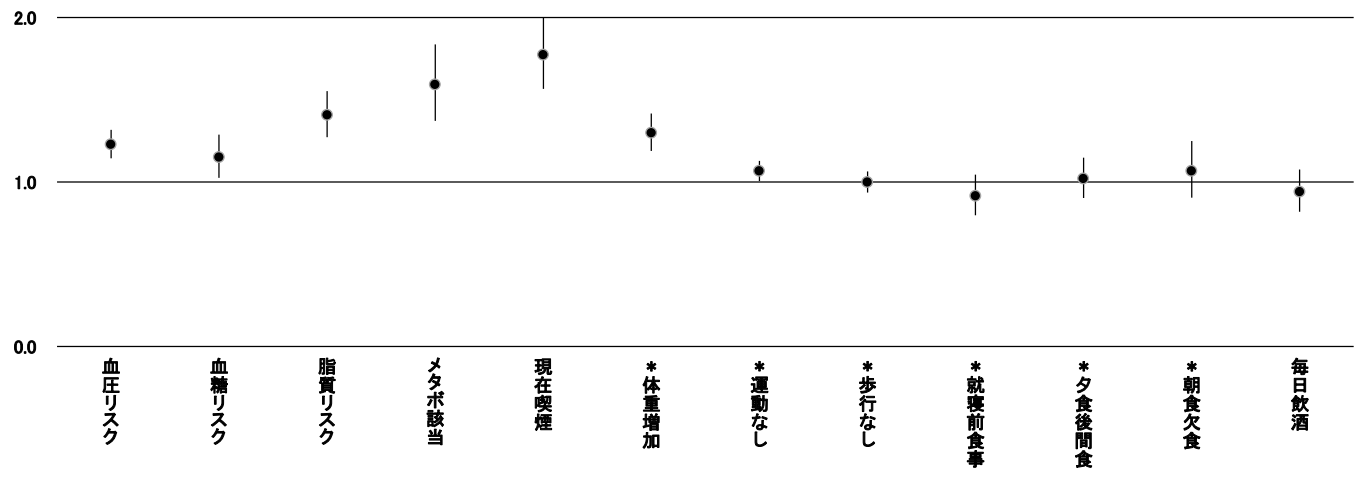
・\* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。  
 ・標準化該当比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化該当比]倍」と解釈する。すなわち、標準化該当比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。  
 ・グラフ中のエラーバーは95%信頼区間(CI)であり、計算により求めた標準化該当比の推定精度を表す。CIが狭ければ精度は高く(実際の値に近く)、広ければ精度は低い(実際の値から離れている恐れがある)。

# 井手町

井手町 標準化該当比(男性)



井手町 標準化該当比(女性)



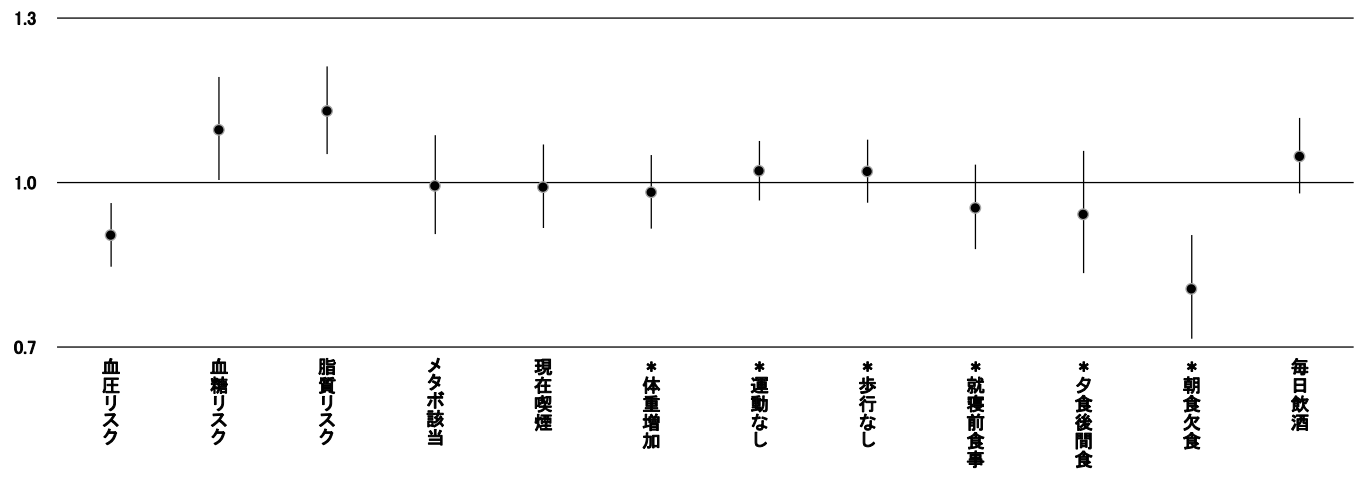
項目	男性				女性			
	標準化 該当比	95%信頼区間		P値	標準化 該当比	95%信頼区間		P値
		信頼下限	信頼上限			信頼下限	信頼上限	
血圧リスク	1.16	1.09	1.24	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.23	1.14	1.32	$<1.00 \times 10^{-4}$
血糖リスク	1.17	1.07	1.29	$7.46 \times 10^{-4}$	1.15	1.02	1.29	$1.57 \times 10^{-2}$
脂質リスク	1.14	1.05	1.24	$9.86 \times 10^{-4}$	1.41	1.27	1.55	$<1.00 \times 10^{-4}$
メタボ該当	1.23	1.12	1.35	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.59	1.37	1.84	$<1.00 \times 10^{-4}$
現在喫煙	1.15	1.06	1.24	$6.83 \times 10^{-4}$	1.77	1.57	2.00	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 体重増加	1.02	0.94	1.09	$6.71 \times 10^{-1}$	1.30	1.19	1.42	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 運動なし	1.00	0.94	1.06	$9.27 \times 10^{-1}$	1.07	1.01	1.13	$2.63 \times 10^{-2}$
* 歩行なし	1.00	0.94	1.06	$9.63 \times 10^{-1}$	1.00	0.94	1.07	$9.90 \times 10^{-1}$
* 就寝前食事	0.99	0.90	1.08	$7.82 \times 10^{-1}$	0.92	0.80	1.05	$2.07 \times 10^{-1}$
* 夕食後間食	0.92	0.80	1.05	$2.13 \times 10^{-1}$	1.02	0.90	1.15	$7.63 \times 10^{-1}$
* 朝食欠食	0.86	0.76	0.97	$1.96 \times 10^{-2}$	1.07	0.91	1.25	$4.42 \times 10^{-1}$
毎日飲酒	1.07	0.99	1.14	$7.89 \times 10^{-2}$	0.94	0.82	1.08	$3.89 \times 10^{-1}$

(上記グラフと表は、平成27・28・29年度 市町村国保 及び 協会けんぽ 特定健診結果合算データによる)

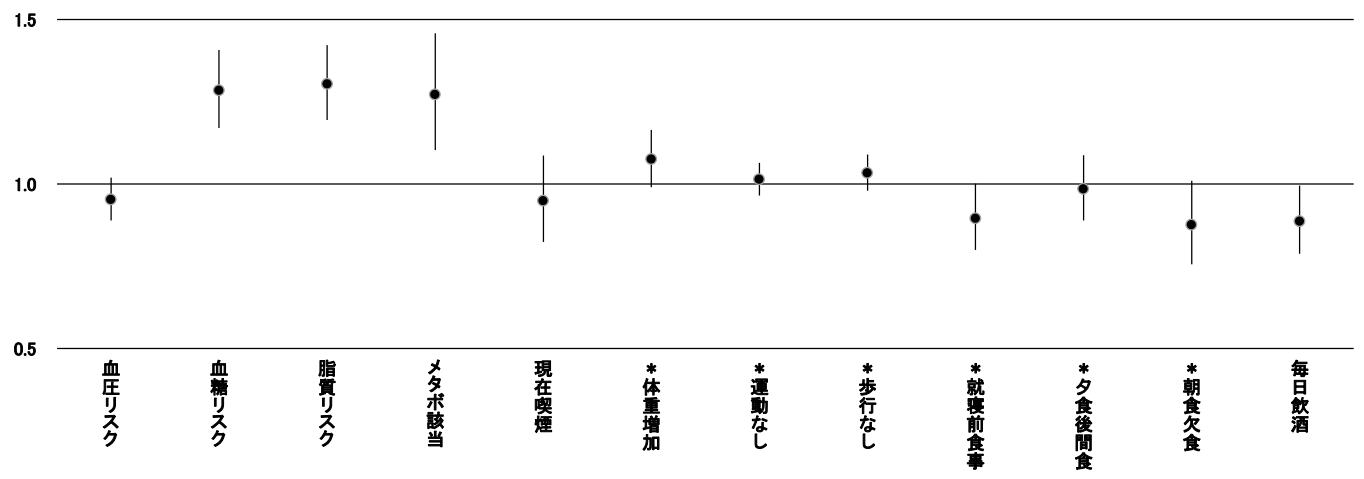
・\* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。  
 ・標準化該当比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化該当比]倍」と解釈する。すなわち、標準化該当比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。  
 ・グラフ中のエラーバーは95%信頼区間(CI)であり、計算により求めた標準化該当比の推定精度を表す。CIが狭ければ精度は高く(実際の値に近く)、広ければ精度は低い(実際の値から離れている恐れがある)。

## 宇治田原町

宇治田原町 標準化該当比(男性)



宇治田原町 標準化該当比(女性)



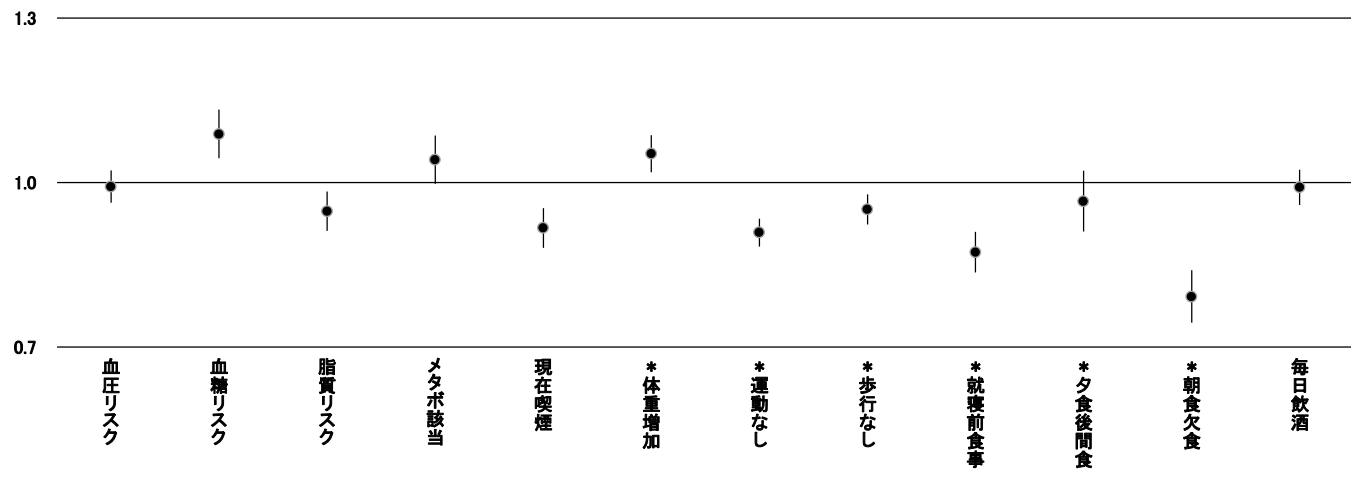
項目	男性				女性			
	標準化 該当比	95%信頼区間		P値	標準化 該当比	95%信頼区間		P値
		信頼下限	信頼上限			信頼下限	信頼上限	
血圧リスク	0.90	0.85	0.96	$1.94 \times 10^{-3}$	0.95	0.89	1.02	$1.67 \times 10^{-1}$
血糖リスク	1.10	1.00	1.19	$3.64 \times 10^{-2}$	1.29	1.17	1.41	$<1.00 \times 10^{-4}$
脂質リスク	1.13	1.05	1.21	$7.07 \times 10^{-4}$	1.30	1.19	1.42	$<1.00 \times 10^{-4}$
メタボ該当	0.99	0.91	1.09	$9.02 \times 10^{-1}$	1.27	1.10	1.46	$6.68 \times 10^{-4}$
現在喫煙	0.99	0.92	1.07	$8.37 \times 10^{-1}$	0.95	0.82	1.09	$4.72 \times 10^{-1}$
* 体重増加	0.98	0.92	1.05	$6.04 \times 10^{-1}$	1.08	0.99	1.17	$8.00 \times 10^{-2}$
* 運動なし	1.02	0.97	1.08	$4.55 \times 10^{-1}$	1.01	0.97	1.06	$5.78 \times 10^{-1}$
* 歩行なし	1.02	0.96	1.08	$5.07 \times 10^{-1}$	1.03	0.98	1.09	$2.20 \times 10^{-1}$
* 就寝前食事	0.95	0.88	1.03	$2.51 \times 10^{-1}$	0.90	0.80	1.00	$5.59 \times 10^{-2}$
* 夕食後間食	0.94	0.84	1.06	$3.24 \times 10^{-1}$	0.98	0.89	1.09	$7.83 \times 10^{-1}$
* 朝食欠食	0.81	0.72	0.90	$2.64 \times 10^{-4}$	0.88	0.76	1.01	$7.44 \times 10^{-2}$
毎日飲酒	1.05	0.98	1.12	$1.69 \times 10^{-1}$	0.89	0.79	1.00	$4.35 \times 10^{-2}$

(上記グラフと表は、平成27・28・29年度 市町村国保 及び 協会けんぽ 特定健診結果合算データによる)

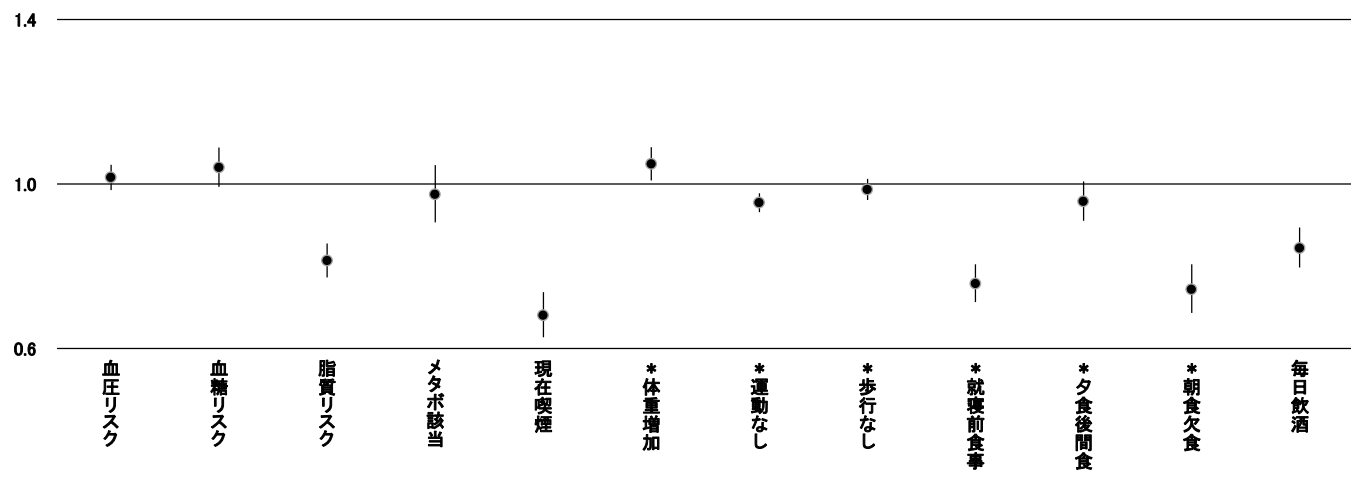
・\* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。  
 ・標準化該当比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化該当比]倍」と解釈する。すなわち、標準化該当比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。  
 ・グラフ中のエラーバーは95%信頼区間(CI)であり、計算により求めた標準化該当比の推定精度を表す。CIが狭ければ精度は高く(実際の値に近く)、広ければ精度は低い(実際の値から離れている恐れがある)。

# 木津川市

木津川市 標準化該当比(男性)



木津川市 標準化該当比(女性)



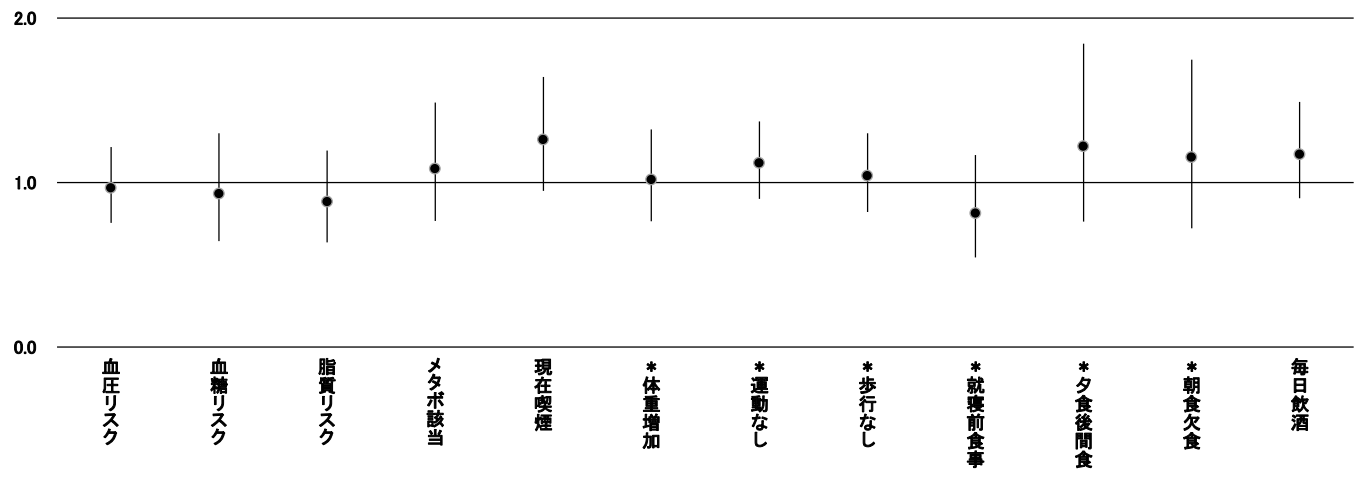
項目	男性				女性			
	標準化 該当比	95%信頼区間		P値	標準化 該当比	95%信頼区間		P値
		信頼下限	信頼上限			信頼下限	信頼上限	
血圧リスク	0.99	0.96	1.02	$6.22 \times 10^{-1}$	1.02	0.99	1.05	$3.05 \times 10^{-1}$
血糖リスク	1.09	1.04	1.13	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.04	0.99	1.09	$9.40 \times 10^{-2}$
脂質リスク	0.95	0.91	0.98	$4.86 \times 10^{-3}$	0.81	0.77	0.86	$<1.00 \times 10^{-4}$
メタボ該当	1.04	1.00	1.09	$6.13 \times 10^{-2}$	0.97	0.91	1.05	$4.90 \times 10^{-1}$
現在喫煙	0.92	0.88	0.95	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.68	0.63	0.74	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 体重増加	1.05	1.02	1.09	$1.84 \times 10^{-3}$	1.05	1.01	1.09	$1.65 \times 10^{-2}$
* 運動なし	0.91	0.88	0.93	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.95	0.93	0.98	$1.74 \times 10^{-4}$
* 歩行なし	0.95	0.92	0.98	$6.15 \times 10^{-4}$	0.99	0.96	1.01	$3.05 \times 10^{-1}$
* 就寝前食事	0.87	0.84	0.91	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.76	0.71	0.81	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 夕食後間食	0.97	0.91	1.02	$2.30 \times 10^{-1}$	0.96	0.91	1.01	$8.98 \times 10^{-2}$
* 朝食欠食	0.79	0.74	0.84	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.74	0.69	0.81	$<1.00 \times 10^{-4}$
毎日飲酒	0.99	0.96	1.02	$5.83 \times 10^{-1}$	0.84	0.80	0.89	$<1.00 \times 10^{-4}$

(上記グラフと表は、平成27・28・29年度 市町村国保 及び 協会けんぽ 特定健診結果合算データによる)

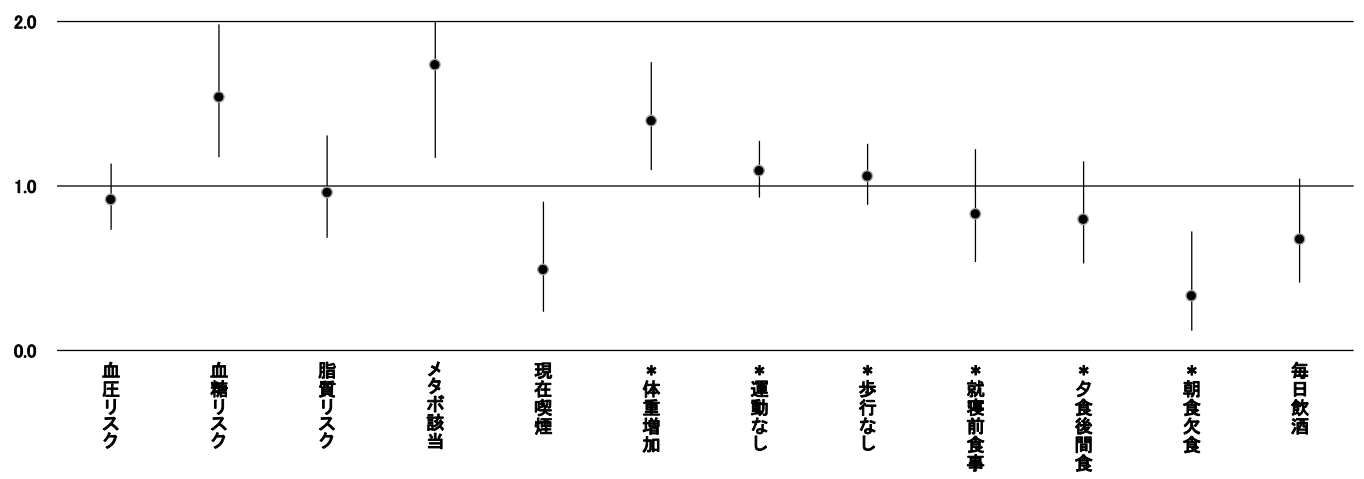
・\* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。  
 ・標準化該当比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化該当比]倍」と解釈する。すなわち、標準化該当比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。  
 ・グラフ中のエラーバーは95%信頼区間(CI)であり、計算により求めた標準化該当比の推定精度を表す。CIが狭ければ精度は高く(実際の値に近く)、広ければ精度は低い(実際の値から離れている恐れがある)。

# 笠置市

笠置市 標準化該当比(男性)



笠置市 標準化該当比(女性)



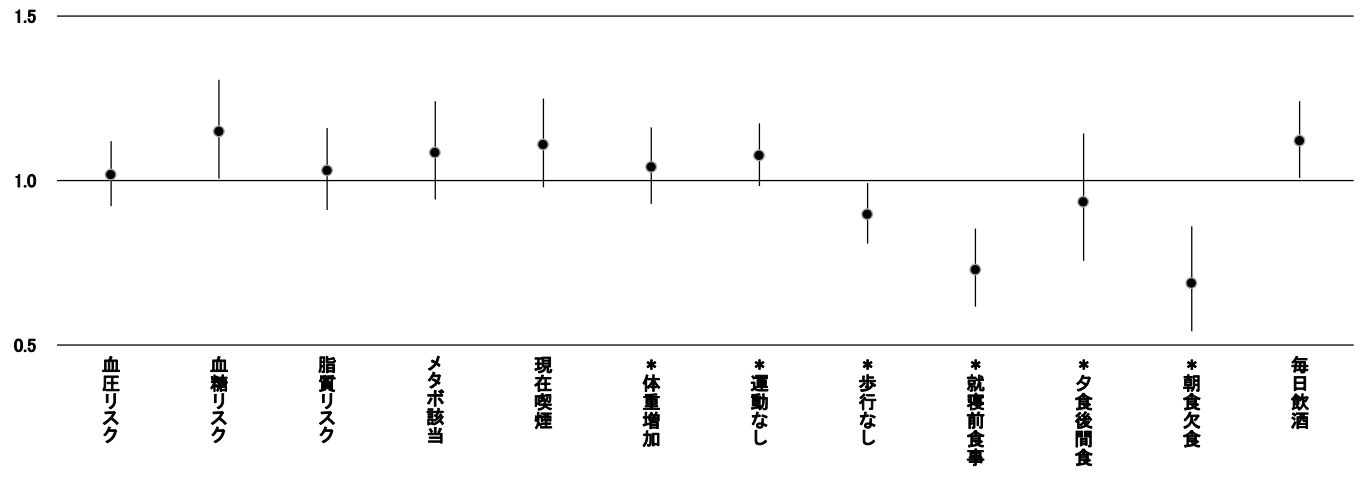
項目	男性				女性			
	標準化 該当比	95%信頼区間		P値	標準化 該当比	95%信頼区間		P値
		信頼下限	信頼上限			信頼下限	信頼上限	
血圧リスク	0.97	0.76	1.22	$8.17 \times 10^{-1}$	0.92	0.73	1.14	$4.66 \times 10^{-1}$
血糖リスク	0.93	0.64	1.30	$7.36 \times 10^{-1}$	1.54	1.17	1.98	$1.01 \times 10^{-3}$
脂質リスク	0.88	0.64	1.19	$4.65 \times 10^{-1}$	0.96	0.69	1.31	$8.58 \times 10^{-1}$
メタボ該当	1.08	0.77	1.49	$6.85 \times 10^{-1}$	1.74	1.17	2.48	$3.26 \times 10^{-3}$
現在喫煙	1.26	0.95	1.64	$9.93 \times 10^{-2}$	0.49	0.24	0.91	$2.95 \times 10^{-2}$
* 体重増加	1.02	0.77	1.32	$9.59 \times 10^{-1}$	1.40	1.10	1.75	$4.78 \times 10^{-3}$
* 運動なし	1.12	0.90	1.37	$3.09 \times 10^{-1}$	1.09	0.93	1.28	$2.79 \times 10^{-1}$
* 歩行なし	1.04	0.82	1.30	$7.74 \times 10^{-1}$	1.06	0.89	1.26	$5.36 \times 10^{-1}$
* 就寝前食事	0.81	0.54	1.17	$3.02 \times 10^{-1}$	0.83	0.54	1.22	$3.99 \times 10^{-1}$
* 夕食後間食	1.22	0.76	1.85	$4.17 \times 10^{-1}$	0.80	0.53	1.15	$2.61 \times 10^{-1}$
* 朝食欠食	1.15	0.72	1.75	$5.77 \times 10^{-1}$	0.33	0.12	0.72	$6.65 \times 10^{-3}$
毎日飲酒	1.17	0.91	1.49	$2.22 \times 10^{-1}$	0.68	0.41	1.04	$9.56 \times 10^{-2}$

(上記グラフと表は、平成27・28・29年度 市町村国保 及び 協会けんぽ 特定健診結果合算データによる)

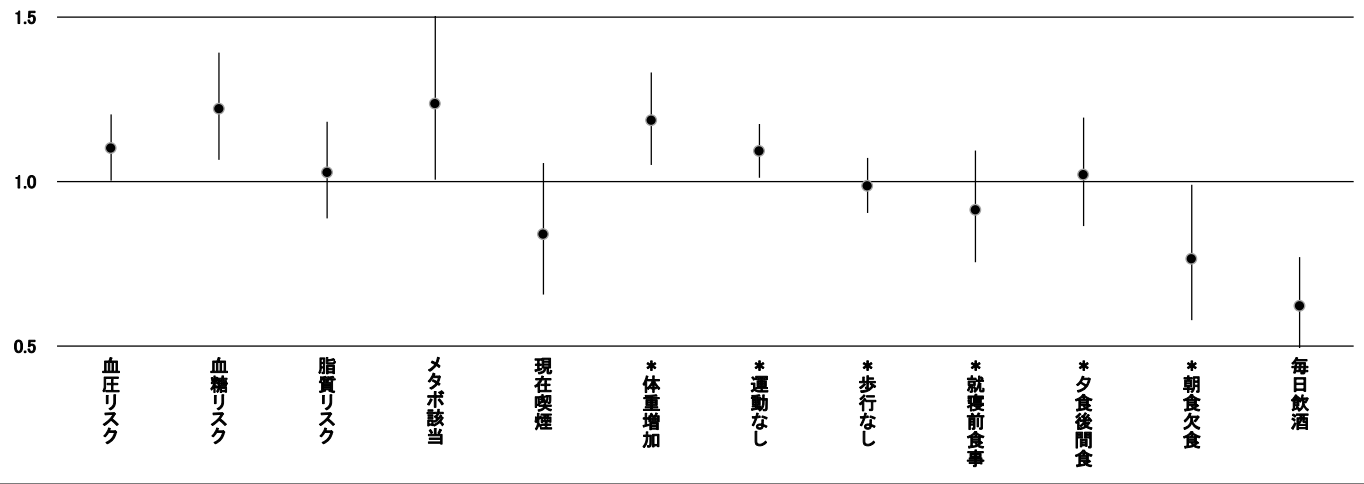
・\* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。  
 ・標準化該当比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化該当比]倍」と解釈する。すなわち、標準化該当比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。  
 ・グラフ中のエラーバーは95%信頼区間(CI)であり、計算により求めた標準化該当比の推定精度を表す。CIが狭ければ精度は高く(実際の値に近く)、広ければ精度は低い(実際の値から離れている恐れがある)。

# 和束町

和束町 標準化該当比(男性)



和束町 標準化該当比(女性)



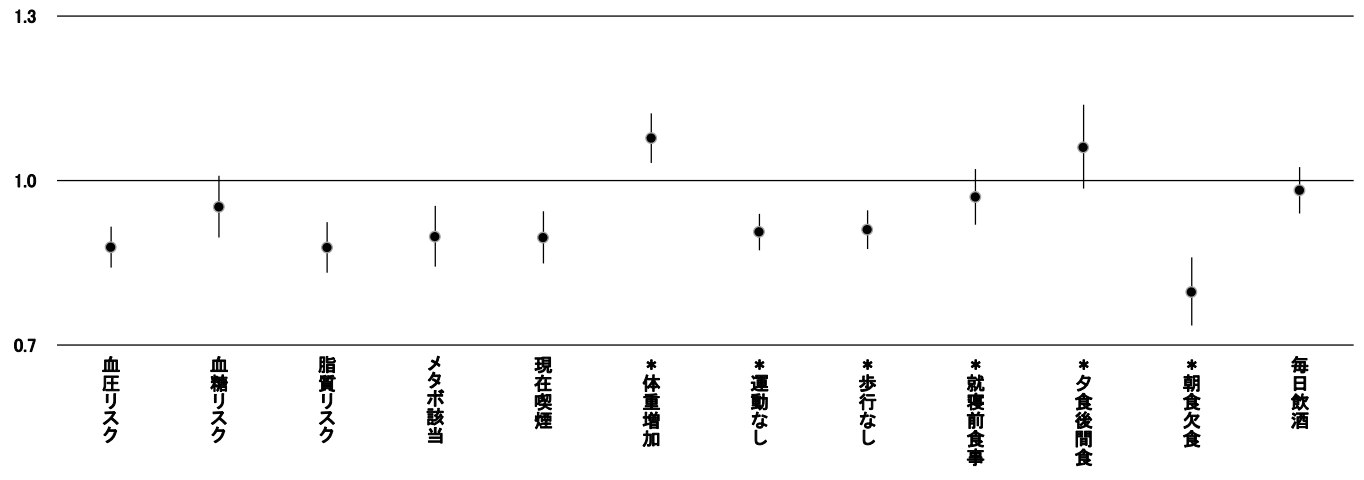
項目	男性				女性			
	標準化 該当比	95%信頼区間		P値	標準化 該当比	95%信頼区間		P値
		信頼下限	信頼上限			信頼下限	信頼上限	
血圧リスク	1.02	0.92	1.12	$7.39 \times 10^{-1}$	1.10	1.00	1.20	$4.00 \times 10^{-2}$
血糖リスク	1.15	1.01	1.31	$3.74 \times 10^{-2}$	1.22	1.07	1.39	$3.19 \times 10^{-3}$
脂質リスク	1.03	0.91	1.16	$6.50 \times 10^{-1}$	1.03	0.89	1.18	$7.32 \times 10^{-1}$
メタボ該当	1.08	0.94	1.24	$2.52 \times 10^{-1}$	1.24	1.01	1.50	$3.85 \times 10^{-2}$
現在喫煙	1.11	0.98	1.25	$9.76 \times 10^{-2}$	0.84	0.66	1.06	$1.51 \times 10^{-1}$
* 体重増加	1.04	0.93	1.16	$4.92 \times 10^{-1}$	1.19	1.05	1.33	$4.79 \times 10^{-3}$
* 運動なし	1.08	0.98	1.17	$1.05 \times 10^{-1}$	1.09	1.01	1.18	$2.12 \times 10^{-2}$
* 歩行なし	0.90	0.81	0.99	$3.65 \times 10^{-2}$	0.99	0.90	1.07	$7.54 \times 10^{-1}$
* 就寝前食事	0.73	0.62	0.85	$1.06 \times 10^{-4}$	0.91	0.76	1.09	$3.50 \times 10^{-1}$
* 夕食後間食	0.94	0.76	1.14	$5.45 \times 10^{-1}$	1.02	0.87	1.19	$8.38 \times 10^{-1}$
* 朝食欠食	0.69	0.54	0.86	$1.22 \times 10^{-3}$	0.76	0.58	0.99	$4.82 \times 10^{-2}$
毎日飲酒	1.12	1.01	1.24	$3.19 \times 10^{-2}$	0.62	0.49	0.77	$< 1.00 \times 10^{-4}$

(上記グラフと表は、平成27・28・29年度 市町村国保 及び 協会けんぽ 特定健診結果合算データによる)

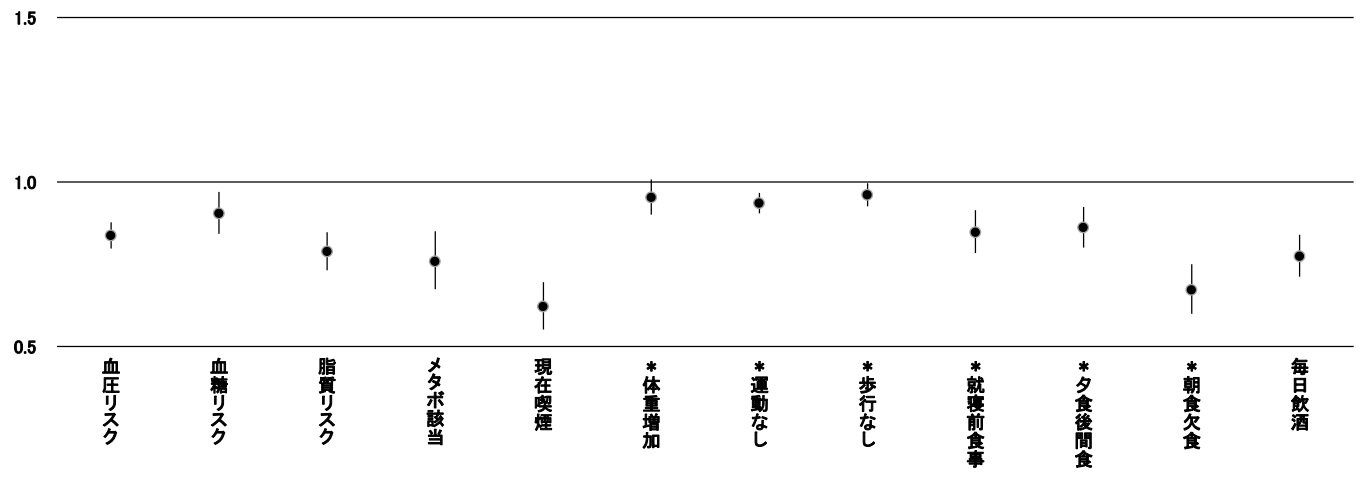
・\* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。  
 ・標準化該当比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化該当比]倍」と解釈する。すなわち、標準化該当比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。  
 ・グラフ中のエラーバーは95%信頼区間(CI)であり、計算により求めた標準化該当比の推定精度を表す。CIが狭ければ精度は高く(実際の値に近く)、広ければ精度は低い(実際の値から離れている恐れがある)。

## 精華町

精華町 標準化該当比(男性)



精華町 標準化該当比(女性)



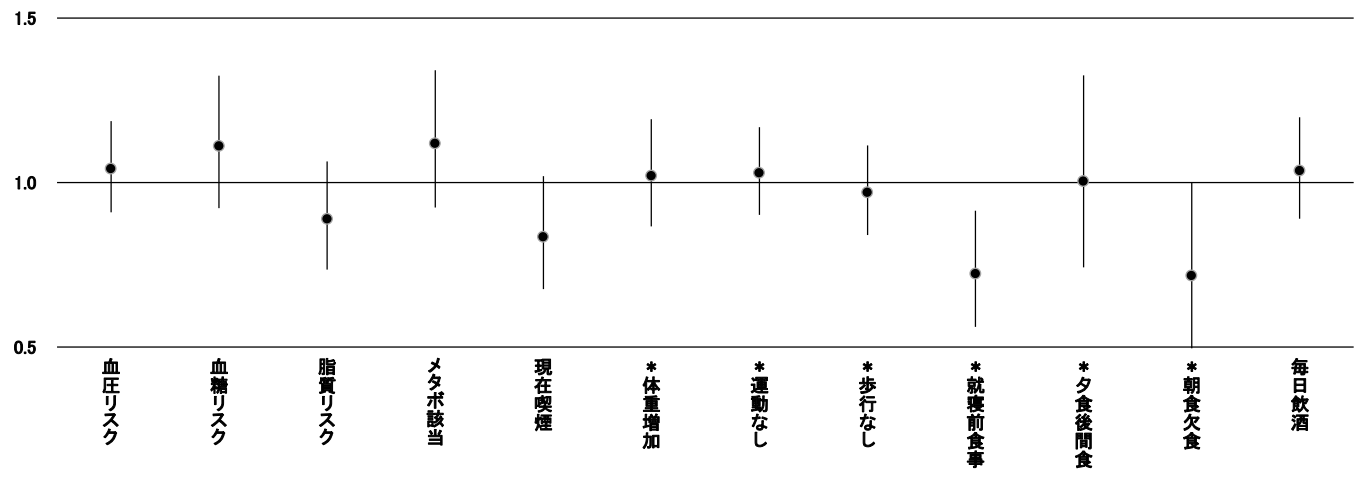
項目	男性				女性			
	標準化 該当比	95%信頼区間		P値	標準化 該当比	95%信頼区間		P値
		信頼下限	信頼上限			信頼下限	信頼上限	
血圧リスク	0.88	0.84	0.92	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.84	0.80	0.88	$<1.00 \times 10^{-4}$
血糖リスク	0.95	0.90	1.01	$1.00 \times 10^{-1}$	0.90	0.84	0.97	$5.36 \times 10^{-3}$
脂質リスク	0.88	0.83	0.92	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.79	0.73	0.85	$<1.00 \times 10^{-4}$
メタボ該当	0.90	0.84	0.95	$5.73 \times 10^{-4}$	0.76	0.67	0.85	$<1.00 \times 10^{-4}$
現在喫煙	0.90	0.85	0.94	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.62	0.55	0.70	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 体重増加	1.08	1.03	1.12	$5.31 \times 10^{-4}$	0.95	0.90	1.01	$9.47 \times 10^{-2}$
* 運動なし	0.91	0.87	0.94	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.94	0.90	0.97	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 歩行なし	0.91	0.88	0.95	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.96	0.93	1.00	$2.99 \times 10^{-2}$
* 就寝前食事	0.97	0.92	1.02	$2.51 \times 10^{-1}$	0.85	0.78	0.91	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 夕食後間食	1.06	0.99	1.14	$1.14 \times 10^{-1}$	0.86	0.80	0.92	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 朝食欠食	0.80	0.74	0.86	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.67	0.60	0.75	$<1.00 \times 10^{-4}$
毎日飲酒	0.98	0.94	1.02	$4.00 \times 10^{-1}$	0.77	0.71	0.84	$<1.00 \times 10^{-4}$

(上記グラフと表は、平成27・28・29年度 市町村国保 及び 協会けんぽ 特定健診結果合算データによる)

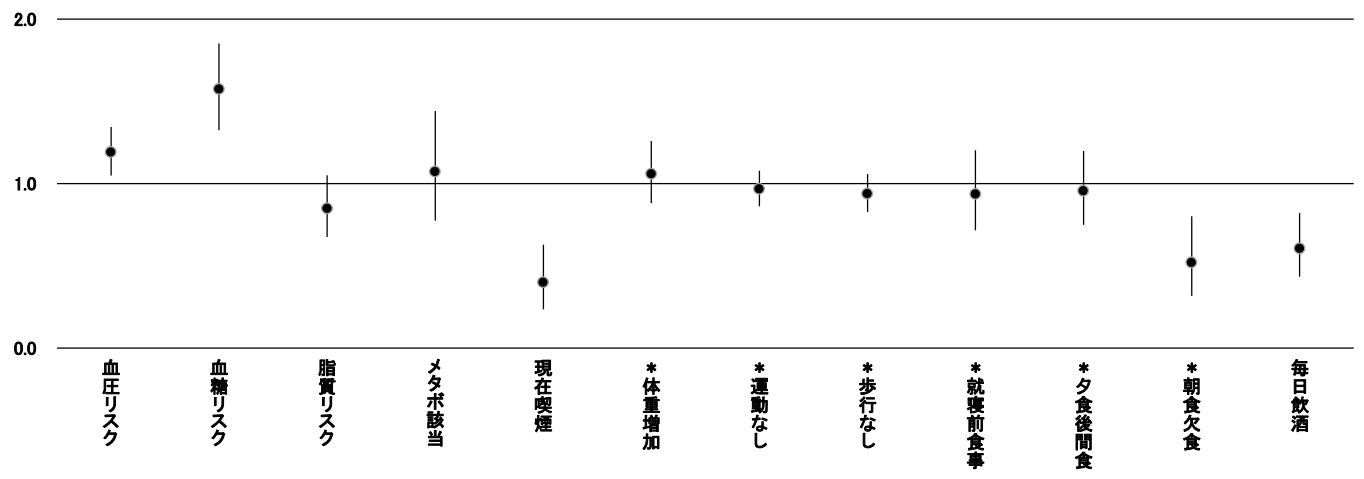
・\* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。  
 ・標準化該当比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化該当比]倍」と解釈する。すなわち、標準化該当比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。  
 ・グラフ中のエラーバーは95%信頼区間(CI)であり、計算により求めた標準化該当比の推定精度を表す。CIが狭ければ精度は高く(実際の値に近く)、広ければ精度は低い(実際の値から離れている恐れがある)。

## 南山城村

南山城村 標準化該当比(男性)



南山城村 標準化該当比(女性)



項目	男性				女性			
	標準化 該当比	95%信頼区間		P値	標準化 該当比	95%信頼区間		P値
		信頼下限	信頼上限			信頼下限	信頼上限	
血圧リスク	1.04	0.91	1.19	$5.63 \times 10^{-1}$	1.19	1.05	1.34	$5.90 \times 10^{-3}$
血糖リスク	1.11	0.92	1.32	$2.65 \times 10^{-1}$	1.57	1.33	1.85	$<1.00 \times 10^{-4}$
脂質リスク	0.89	0.74	1.06	$2.17 \times 10^{-1}$	0.85	0.68	1.05	$1.46 \times 10^{-1}$
メタボ該当	1.12	0.92	1.34	$2.47 \times 10^{-1}$	1.07	0.77	1.44	$7.12 \times 10^{-1}$
現在喫煙	0.83	0.68	1.02	$8.46 \times 10^{-2}$	0.40	0.24	0.63	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 体重増加	1.02	0.87	1.19	$8.32 \times 10^{-1}$	1.06	0.88	1.26	$5.59 \times 10^{-1}$
* 運動なし	1.03	0.90	1.17	$6.86 \times 10^{-1}$	0.97	0.86	1.08	$5.53 \times 10^{-1}$
* 歩行なし	0.97	0.84	1.11	$6.90 \times 10^{-1}$	0.94	0.83	1.06	$3.15 \times 10^{-1}$
* 就寝前食事	0.72	0.56	0.91	$7.75 \times 10^{-3}$	0.94	0.72	1.20	$6.47 \times 10^{-1}$
* 夕食後間食	1.00	0.74	1.33	$9.61 \times 10^{-1}$	0.95	0.75	1.20	$7.32 \times 10^{-1}$
* 朝食欠食	0.72	0.50	1.00	$6.00 \times 10^{-2}$	0.52	0.32	0.80	$3.76 \times 10^{-3}$
毎日飲酒	1.04	0.89	1.20	$6.65 \times 10^{-1}$	0.60	0.43	0.82	$1.41 \times 10^{-3}$

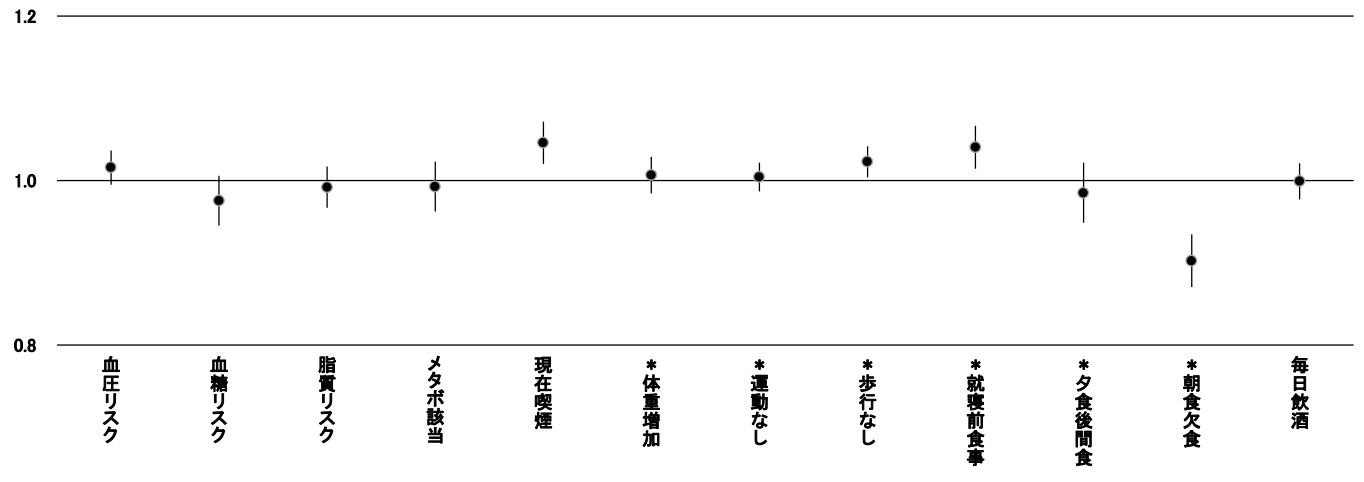
(上記グラフと表は、平成27・28・29年度 市町村国保 及び 協会けんぽ 特定健診結果合算データによる)

・\* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。  
 ・標準化該当比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化該当比]倍」と解釈する。すなわち、標準化該当比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。  
 ・グラフ中のエラーバーは95%信頼区間(CI)であり、計算により求めた標準化該当比の推定精度を表す。CIが狭ければ精度は高く(実際の値に近く)、広ければ精度は低い(実際の値から離れている恐れがある)。

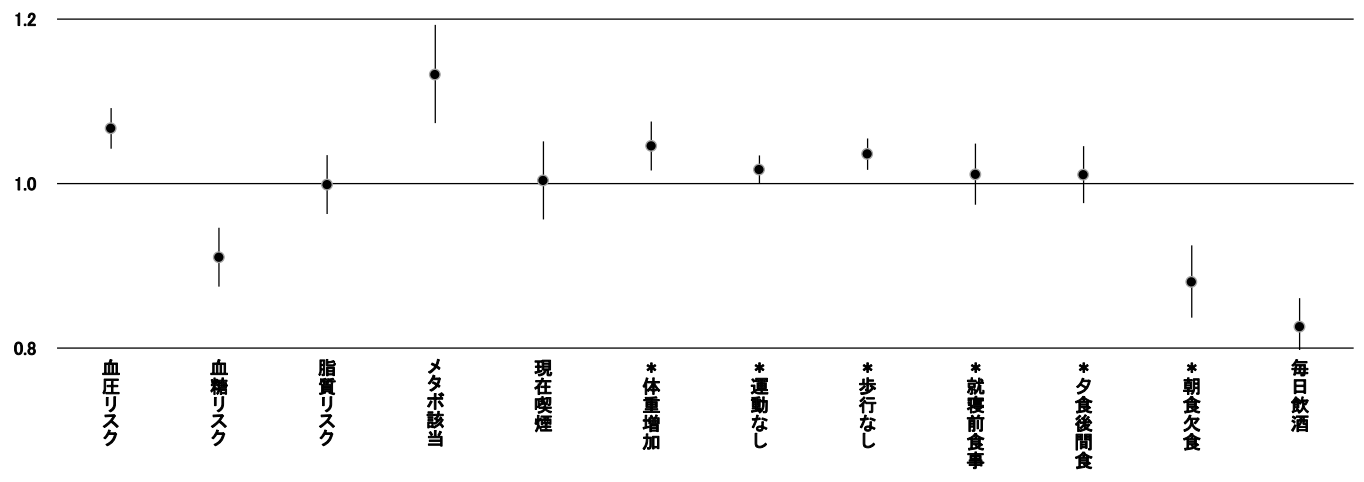


# 亀岡市

亀岡市 標準化該当比(男性)



亀岡市 標準化該当比(女性)



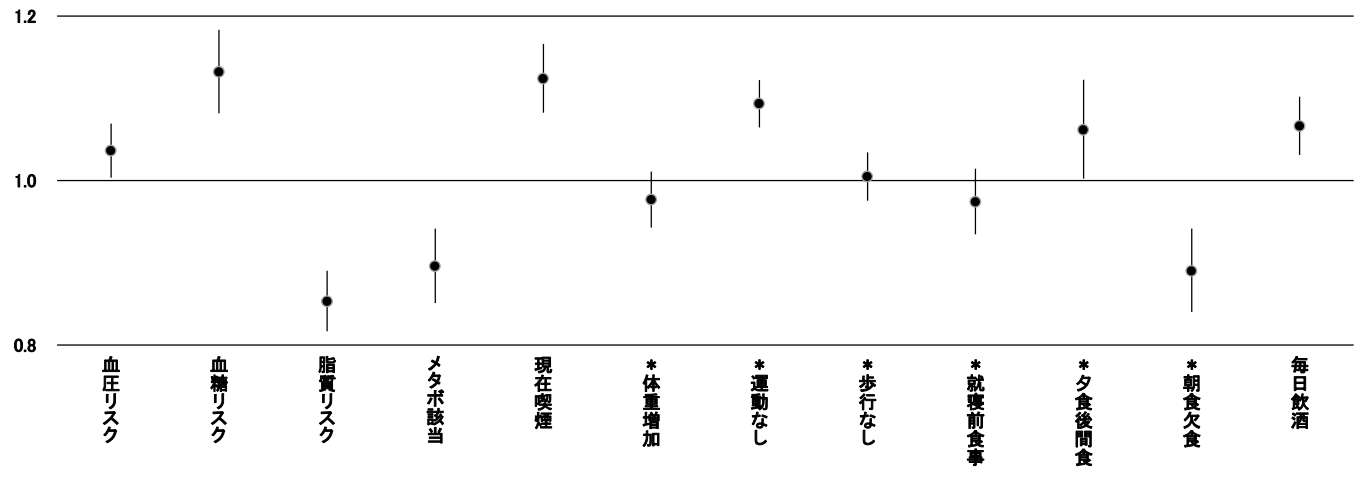
項目	男性				女性			
	標準化 該当比	95%信頼区間		P値	標準化 該当比	95%信頼区間		P値
		信頼下限	信頼上限			信頼下限	信頼上限	
血圧リスク	1.02	0.99	1.04	$1.38 \times 10^{-1}$	1.07	1.04	1.09	$<1.00 \times 10^{-4}$
血糖リスク	0.98	0.95	1.01	$1.14 \times 10^{-1}$	0.91	0.87	0.95	$<1.00 \times 10^{-4}$
脂質リスク	0.99	0.97	1.02	$5.24 \times 10^{-1}$	1.00	0.96	1.03	$9.41 \times 10^{-1}$
メタボ該当	0.99	0.96	1.02	$6.30 \times 10^{-1}$	1.13	1.07	1.19	$<1.00 \times 10^{-4}$
現在喫煙	1.05	1.02	1.07	$3.62 \times 10^{-4}$	1.00	0.96	1.05	$9.00 \times 10^{-1}$
*体重増加	1.01	0.98	1.03	$5.64 \times 10^{-1}$	1.05	1.02	1.08	$2.16 \times 10^{-3}$
*運動なし	1.00	0.99	1.02	$6.37 \times 10^{-1}$	1.02	1.00	1.03	$5.45 \times 10^{-2}$
*歩行なし	1.02	1.00	1.04	$1.62 \times 10^{-2}$	1.04	1.02	1.06	$1.67 \times 10^{-4}$
*就寝前食事	1.04	1.01	1.07	$1.99 \times 10^{-3}$	1.01	0.97	1.05	$5.65 \times 10^{-1}$
*夕食後間食	0.98	0.95	1.02	$4.23 \times 10^{-1}$	1.01	0.98	1.05	$5.56 \times 10^{-1}$
*朝食欠食	0.90	0.87	0.93	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.88	0.84	0.92	$<1.00 \times 10^{-4}$
毎日飲酒	1.00	0.98	1.02	$9.37 \times 10^{-1}$	0.83	0.79	0.86	$<1.00 \times 10^{-4}$

(上記グラフと表は、平成27・28・29年度 市町村国保 及び 協会けんぽ 特定健診結果合算データによる)

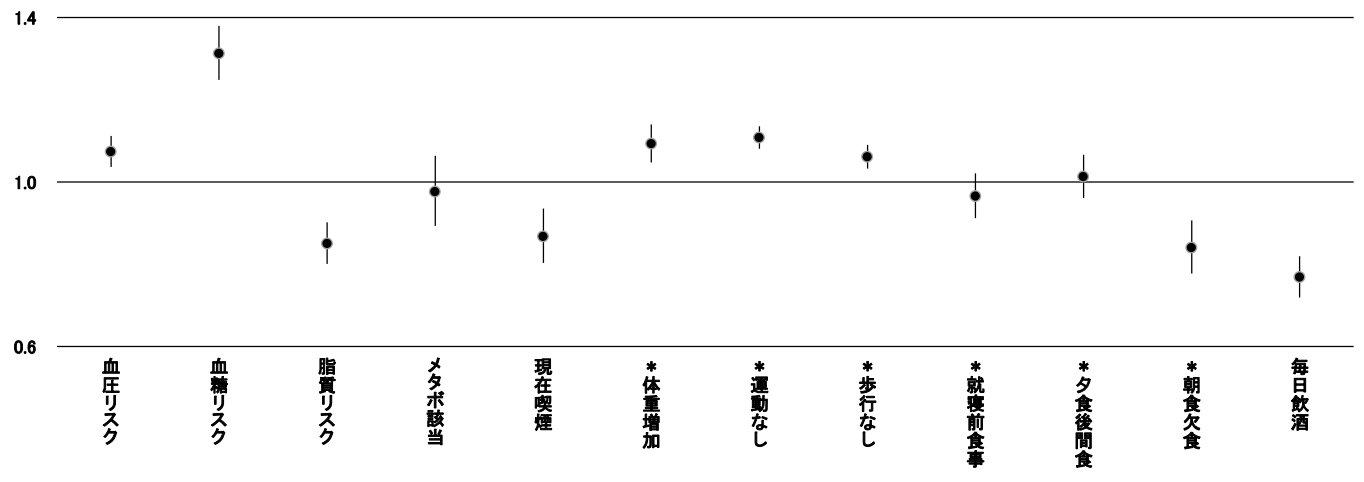
・\* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。  
 ・標準化該当比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化該当比]倍」と解釈する。すなわち、標準化該当比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。  
 ・グラフ中のエラーバーは95%信頼区間(CI)であり、計算により求めた標準化該当比の推定精度を表す。CIが狭ければ精度は高く(実際の値に近く)、広ければ精度は低い(実際の値から離れている恐れがある)。

# 南丹市

南丹市 標準化該当比(男性)



南丹市 標準化該当比(女性)



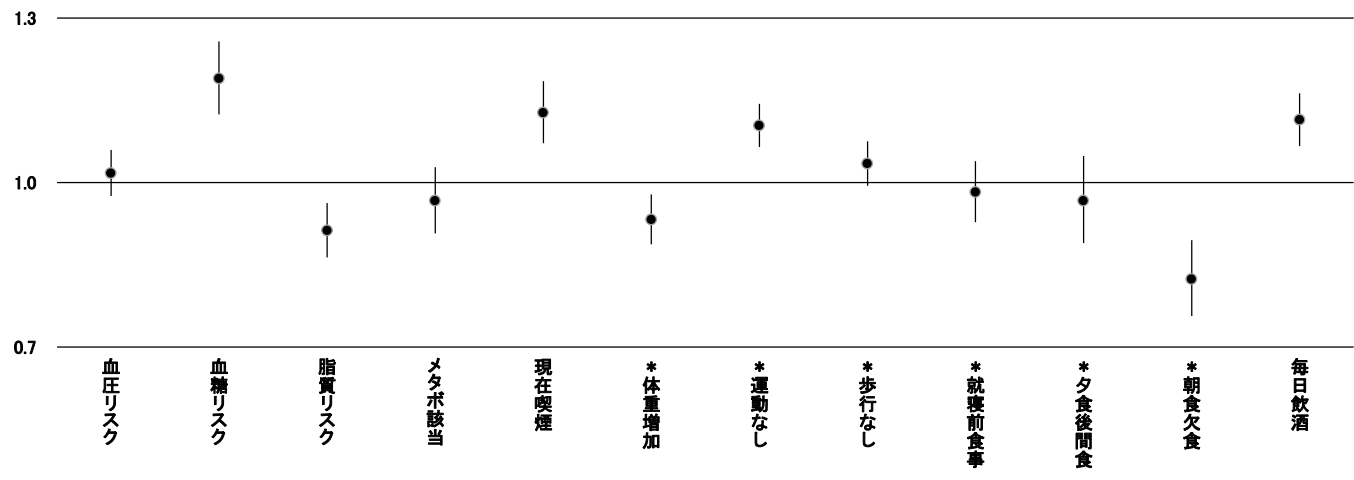
項目	男性				女性			
	標準化 該当比	95%信頼区間		P値	標準化 該当比	95%信頼区間		P値
		信頼下限	信頼上限			信頼下限	信頼上限	
血圧リスク	1.04	1.00	1.07	$2.84 \times 10^{-2}$	1.07	1.04	1.11	$<1.00 \times 10^{-4}$
血糖リスク	1.13	1.08	1.18	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.31	1.25	1.38	$<1.00 \times 10^{-4}$
脂質リスク	0.85	0.82	0.89	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.85	0.80	0.90	$<1.00 \times 10^{-4}$
メタボ該当	0.90	0.85	0.94	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.98	0.89	1.06	$6.02 \times 10^{-1}$
現在喫煙	1.12	1.08	1.17	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.87	0.80	0.94	$2.47 \times 10^{-4}$
* 体重増加	0.98	0.94	1.01	$1.83 \times 10^{-1}$	1.09	1.05	1.14	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 運動なし	1.09	1.06	1.12	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.11	1.08	1.14	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 歩行なし	1.00	0.98	1.03	$7.63 \times 10^{-1}$	1.06	1.03	1.09	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 就寝前食事	0.97	0.93	1.01	$2.07 \times 10^{-1}$	0.97	0.91	1.02	$2.26 \times 10^{-1}$
* 夕食後間食	1.06	1.00	1.12	$3.97 \times 10^{-2}$	1.01	0.96	1.07	$6.39 \times 10^{-1}$
* 朝食欠食	0.89	0.84	0.94	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.84	0.78	0.91	$<1.00 \times 10^{-4}$
毎日飲酒	1.07	1.03	1.10	$1.50 \times 10^{-4}$	0.77	0.72	0.82	$<1.00 \times 10^{-4}$

(上記グラフと表は、平成27・28・29年度 市町村国保 及び 協会けんぽ 特定健診結果合算データによる)

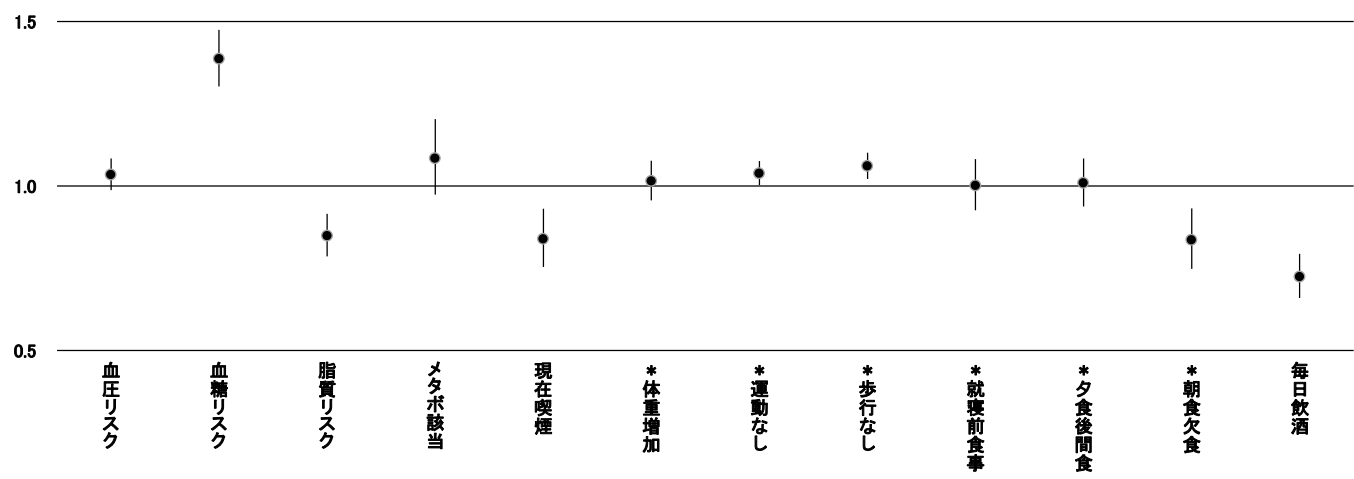
・\* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。  
 ・標準化該当比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化該当比]倍」と解釈する。すなわち、標準化該当比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。  
 ・グラフ中のエラーバーは95%信頼区間(CI)であり、計算により求めた標準化該当比の推定精度を表す。CIが狭ければ精度は高く(実際の値に近く)、広ければ精度は低い(実際の値から離れている恐れがある)。

# 京丹波町

京丹波町 標準化該当比(男性)



京丹波町 標準化該当比(女性)



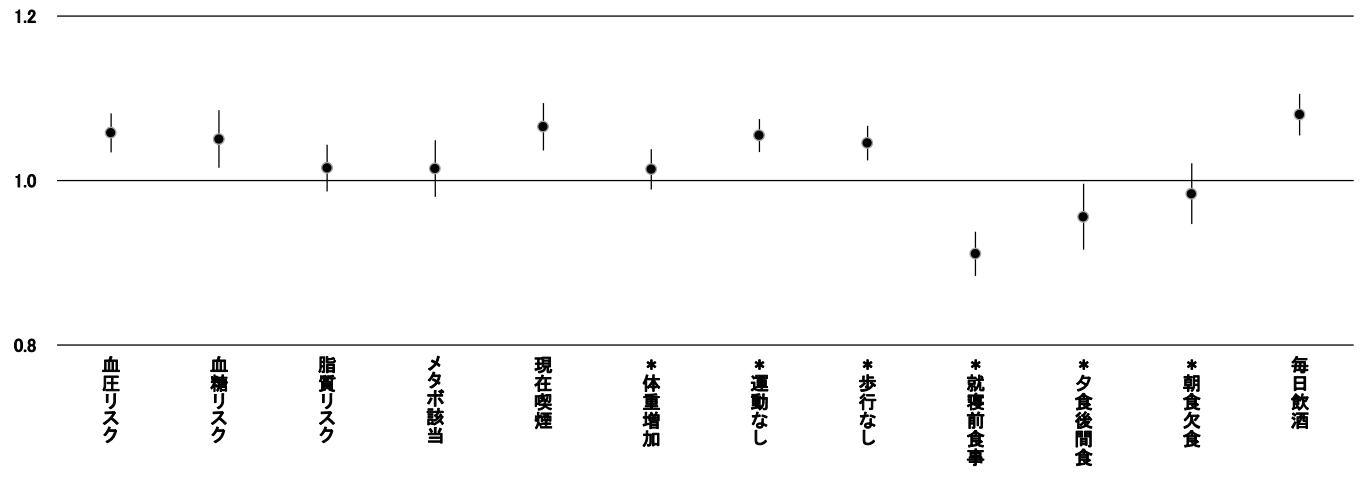
項目	男性				女性			
	標準化 該当比	95%信頼区間		P値	標準化 該当比	95%信頼区間		P値
		信頼下限	信頼上限			信頼下限	信頼上限	
血圧リスク	1.02	0.98	1.06	$4.30 \times 10^{-1}$	1.03	0.99	1.08	$1.47 \times 10^{-1}$
血糖リスク	1.19	1.12	1.26	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.39	1.30	1.47	$<1.00 \times 10^{-4}$
脂質リスク	0.91	0.86	0.96	$8.98 \times 10^{-4}$	0.85	0.79	0.92	$<1.00 \times 10^{-4}$
メタボ該当	0.97	0.91	1.03	$2.86 \times 10^{-1}$	1.08	0.97	1.20	$1.36 \times 10^{-1}$
現在喫煙	1.13	1.07	1.18	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.84	0.75	0.93	$1.07 \times 10^{-3}$
* 体重増加	0.93	0.89	0.98	$4.58 \times 10^{-3}$	1.02	0.96	1.08	$6.27 \times 10^{-1}$
* 運動なし	1.10	1.06	1.14	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.04	1.00	1.08	$3.19 \times 10^{-2}$
* 歩行なし	1.03	0.99	1.08	$9.11 \times 10^{-2}$	1.06	1.02	1.10	$2.01 \times 10^{-3}$
* 就寝前食事	0.98	0.93	1.04	$5.45 \times 10^{-1}$	1.00	0.93	1.08	$9.75 \times 10^{-1}$
* 夕食後間食	0.97	0.89	1.05	$4.25 \times 10^{-1}$	1.01	0.94	1.08	$8.20 \times 10^{-1}$
* 朝食欠食	0.82	0.76	0.90	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.84	0.75	0.93	$1.34 \times 10^{-3}$
毎日飲酒	1.11	1.07	1.16	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.72	0.66	0.79	$<1.00 \times 10^{-4}$

(上記グラフと表は、平成27・28・29年度 市町村国保 及び 協会けんぽ 特定健診結果合算データによる)

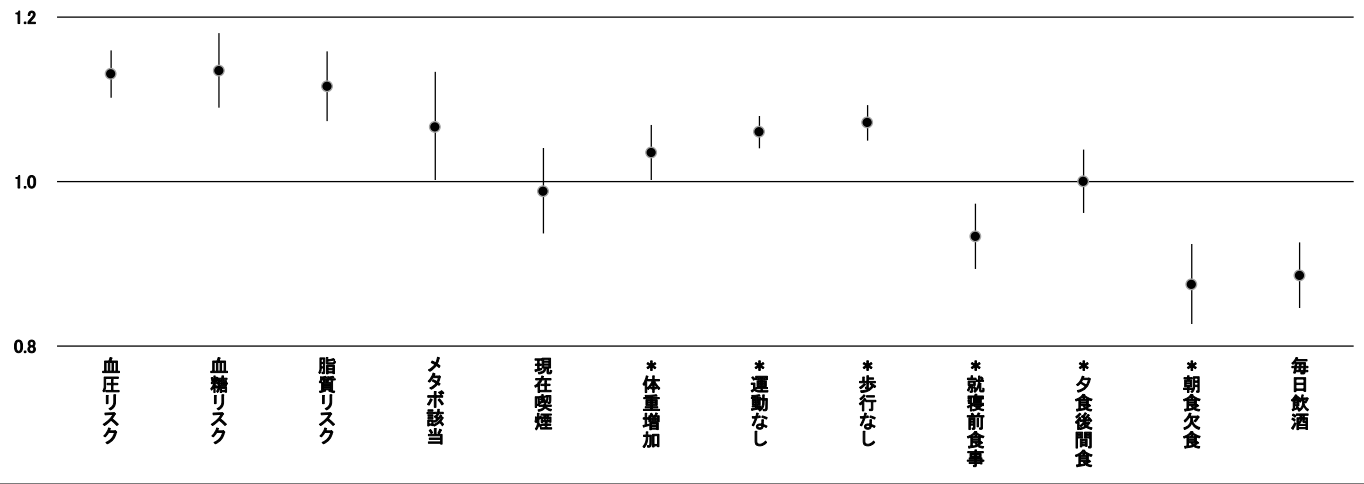
・\* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。  
 ・標準化該当比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化該当比]倍」と解釈する。すなわち、標準化該当比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。  
 ・グラフ中のエラーバーは95%信頼区間(CI)であり、計算により求めた標準化該当比の推定精度を表す。CIが狭ければ精度は高く(実際の値に近く)、広ければ精度は低い(実際の値から離れている恐れがある)。

# 福知山市

福知山市 標準化該当比(男性)



福知山市 標準化該当比(女性)



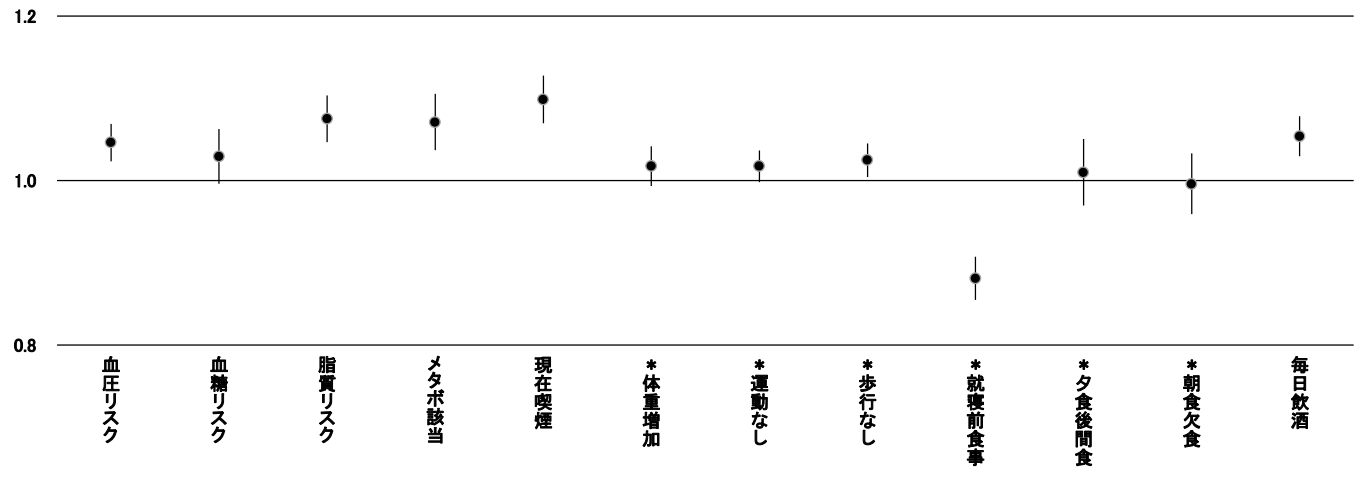
項目	男性				女性			
	標準化 該当比	95%信頼区間		P値	標準化 該当比	95%信頼区間		P値
		信頼下限	信頼上限			信頼下限	信頼上限	
血圧リスク	1.06	1.03	1.08	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.13	1.10	1.16	$<1.00 \times 10^{-4}$
血糖リスク	1.05	1.02	1.09	$4.05 \times 10^{-3}$	1.13	1.09	1.18	$<1.00 \times 10^{-4}$
脂質リスク	1.01	0.99	1.04	$3.00 \times 10^{-1}$	1.12	1.07	1.16	$<1.00 \times 10^{-4}$
メタボ該当	1.01	0.98	1.05	$4.21 \times 10^{-1}$	1.07	1.00	1.13	$4.16 \times 10^{-2}$
現在喫煙	1.07	1.04	1.09	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.99	0.94	1.04	$6.58 \times 10^{-1}$
*体重増加	1.01	0.99	1.04	$2.80 \times 10^{-1}$	1.04	1.00	1.07	$3.58 \times 10^{-2}$
*運動なし	1.05	1.03	1.07	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.06	1.04	1.08	$<1.00 \times 10^{-4}$
*歩行なし	1.05	1.02	1.07	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.07	1.05	1.09	$<1.00 \times 10^{-4}$
*就寝前食事	0.91	0.88	0.94	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.93	0.89	0.97	$1.31 \times 10^{-3}$
*夕食後間食	0.96	0.92	1.00	$3.30 \times 10^{-2}$	1.00	0.96	1.04	$9.92 \times 10^{-1}$
*朝食欠食	0.98	0.95	1.02	$3.88 \times 10^{-1}$	0.87	0.83	0.92	$<1.00 \times 10^{-4}$
毎日飲酒	1.08	1.06	1.11	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.89	0.85	0.93	$<1.00 \times 10^{-4}$

(上記グラフと表は、平成27・28・29年度 市町村国保 及び 協会けんぽ 特定健診結果合算データによる)

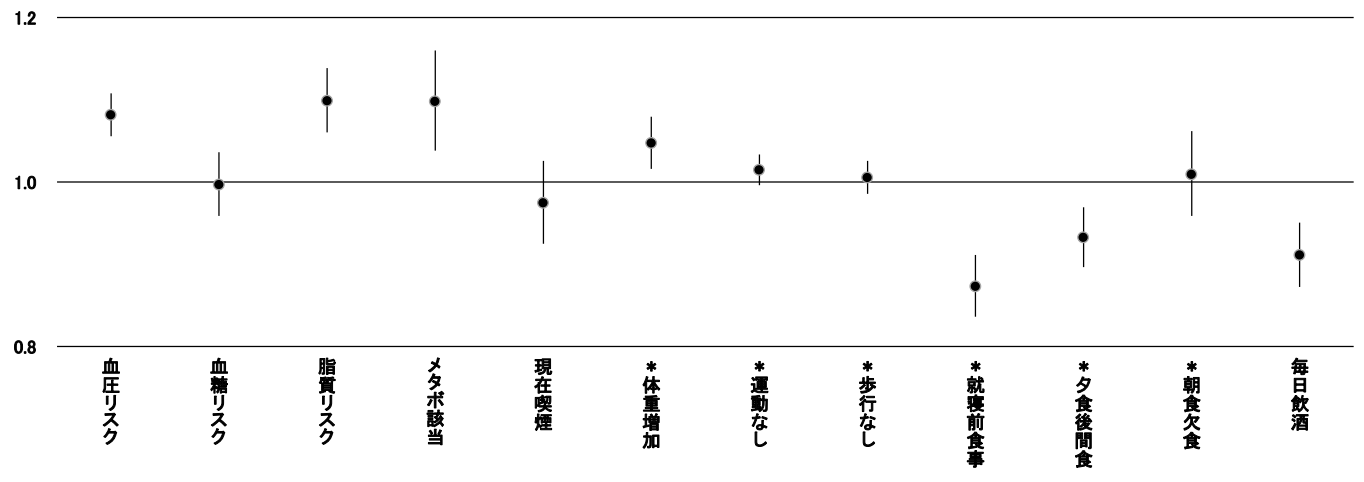
・\* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。  
 ・標準化該当比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化該当比]倍」と解釈する。すなわち、標準化該当比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。  
 ・グラフ中のエラーバーは95%信頼区間(CI)であり、計算により求めた標準化該当比の推定精度を表す。CIが狭ければ精度は高く(実際の値に近く)、広ければ精度は低い(実際の値から離れている恐れがある)。

# 舞鶴市

舞鶴市 標準化該当比(男性)



舞鶴市 標準化該当比(女性)



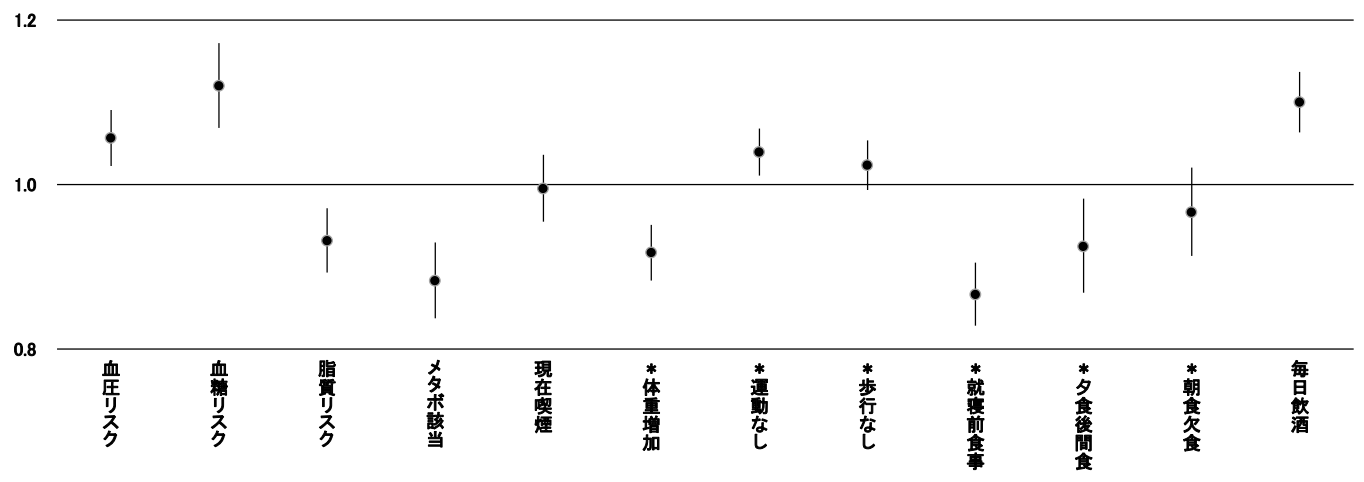
項目	男性				女性			
	標準化 該当比	95%信頼区間		P値	標準化 該当比	95%信頼区間		P値
		信頼下限	信頼上限			信頼下限	信頼上限	
血圧リスク	1.05	1.02	1.07	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.08	1.06	1.11	$<1.00 \times 10^{-4}$
血糖リスク	1.03	1.00	1.06	$8.12 \times 10^{-2}$	1.00	0.96	1.04	$8.82 \times 10^{-1}$
脂質リスク	1.08	1.05	1.10	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.10	1.06	1.14	$<1.00 \times 10^{-4}$
メタボ該当	1.07	1.04	1.11	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.10	1.04	1.16	$9.16 \times 10^{-4}$
現在喫煙	1.10	1.07	1.13	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.97	0.93	1.03	$3.32 \times 10^{-1}$
* 体重増加	1.02	0.99	1.04	$1.57 \times 10^{-1}$	1.05	1.02	1.08	$2.81 \times 10^{-3}$
* 運動なし	1.02	1.00	1.04	$7.44 \times 10^{-2}$	1.01	1.00	1.03	$1.16 \times 10^{-1}$
* 歩行なし	1.02	1.00	1.05	$1.61 \times 10^{-2}$	1.01	0.99	1.03	$5.94 \times 10^{-1}$
* 就寝前食事	0.88	0.85	0.91	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.87	0.84	0.91	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 夕食後間食	1.01	0.97	1.05	$6.50 \times 10^{-1}$	0.93	0.90	0.97	$4.09 \times 10^{-4}$
* 朝食欠食	1.00	0.96	1.03	$8.27 \times 10^{-1}$	1.01	0.96	1.06	$7.27 \times 10^{-1}$
毎日飲酒	1.05	1.03	1.08	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.91	0.87	0.95	$<1.00 \times 10^{-4}$

(上記グラフと表は、平成27・28・29年度 市町村国保 及び 協会けんぽ 特定健診結果合算データによる)

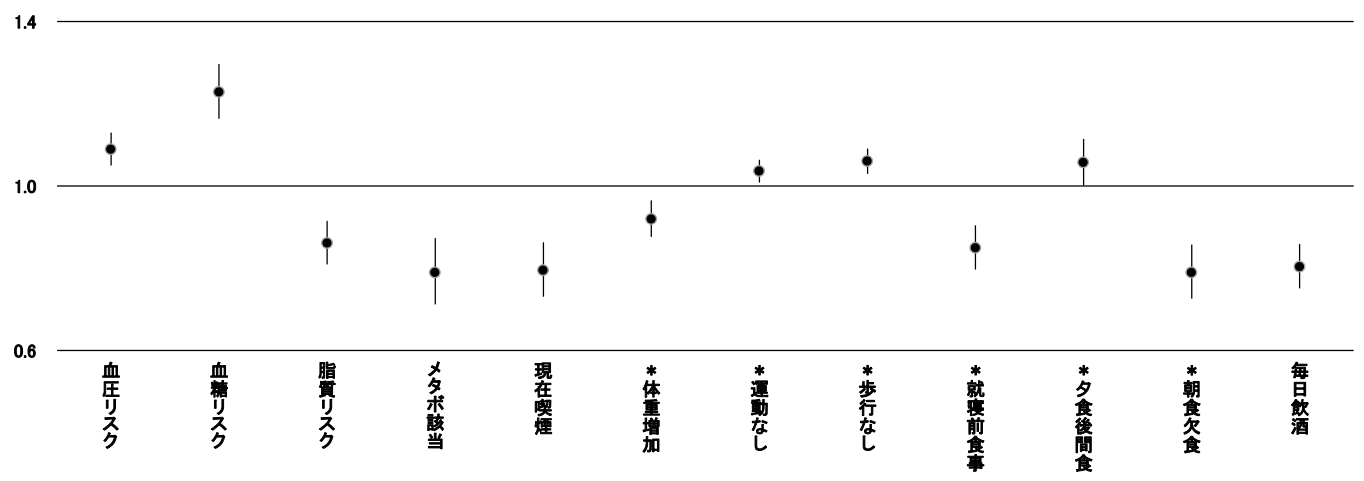
・\* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。  
 ・標準化該当比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化該当比]倍」と解釈する。すなわち、標準化該当比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。  
 ・グラフ中のエラーバーは95%信頼区間(CI)であり、計算により求めた標準化該当比の推定精度を表す。CIが狭ければ精度は高く(実際の値に近く)、広ければ精度は低い(実際の値から離れている恐れがある)。

## 綾部市

綾部市 標準化該当比(男性)



綾部市 標準化該当比(女性)



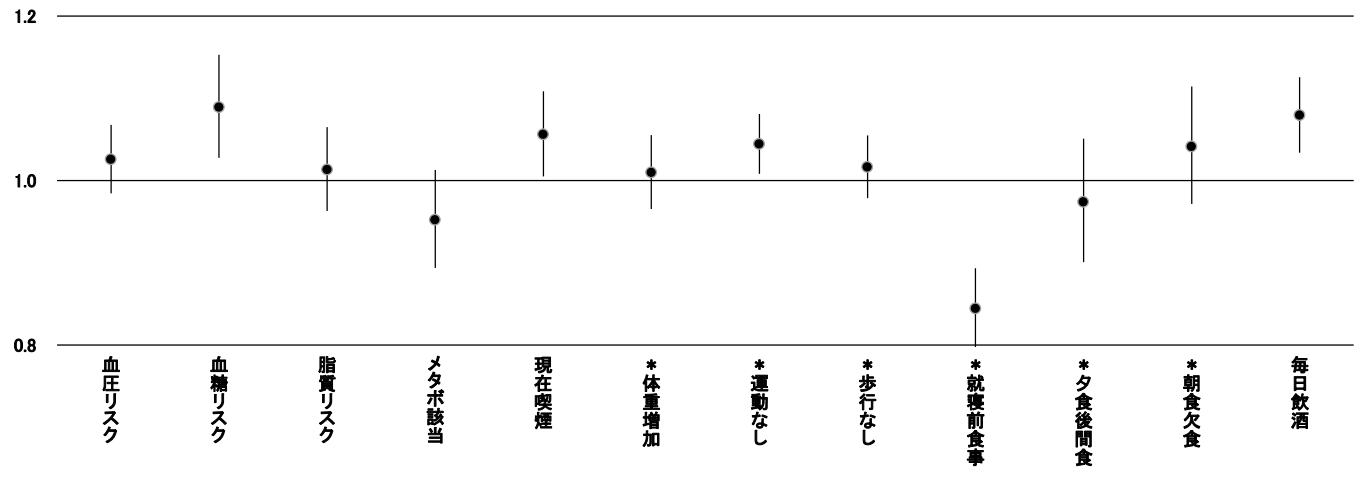
項目	男性				女性			
	標準化 該当比	95%信頼区間		P値	標準化 該当比	95%信頼区間		P値
		信頼下限	信頼上限			信頼下限	信頼上限	
血圧リスク	1.06	1.02	1.09	$8.58 \times 10^{-4}$	1.09	1.05	1.13	$<1.00 \times 10^{-4}$
血糖リスク	1.12	1.07	1.17	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.23	1.16	1.30	$<1.00 \times 10^{-4}$
脂質リスク	0.93	0.89	0.97	$9.54 \times 10^{-4}$	0.86	0.81	0.92	$<1.00 \times 10^{-4}$
メタボ該当	0.88	0.84	0.93	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.79	0.71	0.87	$<1.00 \times 10^{-4}$
現在喫煙	0.99	0.95	1.04	$8.14 \times 10^{-1}$	0.80	0.73	0.86	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 体重増加	0.92	0.88	0.95	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.92	0.88	0.97	$7.39 \times 10^{-4}$
* 運動なし	1.04	1.01	1.07	$6.07 \times 10^{-3}$	1.04	1.01	1.06	$9.03 \times 10^{-3}$
* 歩行なし	1.02	0.99	1.05	$1.25 \times 10^{-1}$	1.06	1.03	1.09	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 就寝前食事	0.87	0.83	0.91	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.85	0.80	0.90	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 夕食後間食	0.92	0.87	0.98	$1.26 \times 10^{-2}$	1.06	1.00	1.11	$4.13 \times 10^{-2}$
* 朝食欠食	0.97	0.91	1.02	$2.23 \times 10^{-1}$	0.79	0.73	0.86	$<1.00 \times 10^{-4}$
毎日飲酒	1.10	1.06	1.14	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.80	0.75	0.86	$<1.00 \times 10^{-4}$

(上記グラフと表は、平成27・28・29年度 市町村国保 及び 協会けんぽ 特定健診結果合算データによる)

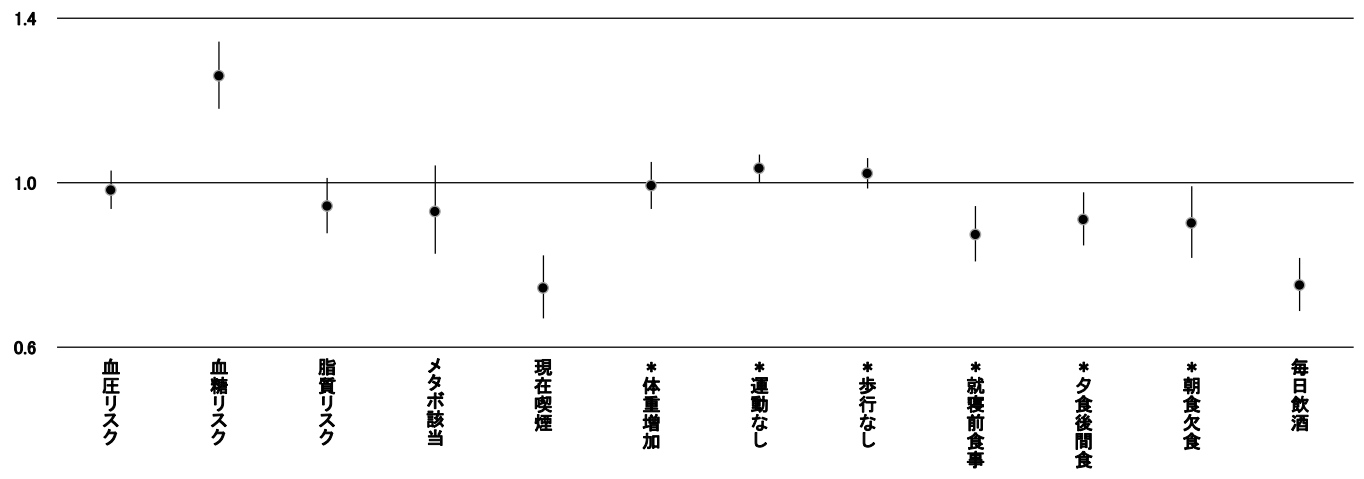
・\* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。  
 ・標準化該当比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化該当比]倍」と解釈する。すなわち、標準化該当比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。  
 ・グラフ中のエラーバーは95%信頼区間(CI)であり、計算により求めた標準化該当比の推定精度を表す。CIが狭ければ精度は高く(実際の値に近く)、広ければ精度は低い(実際の値から離れている恐れがある)。

# 宮津市

宮津市 標準化該当比(男性)



宮津市 標準化該当比(女性)



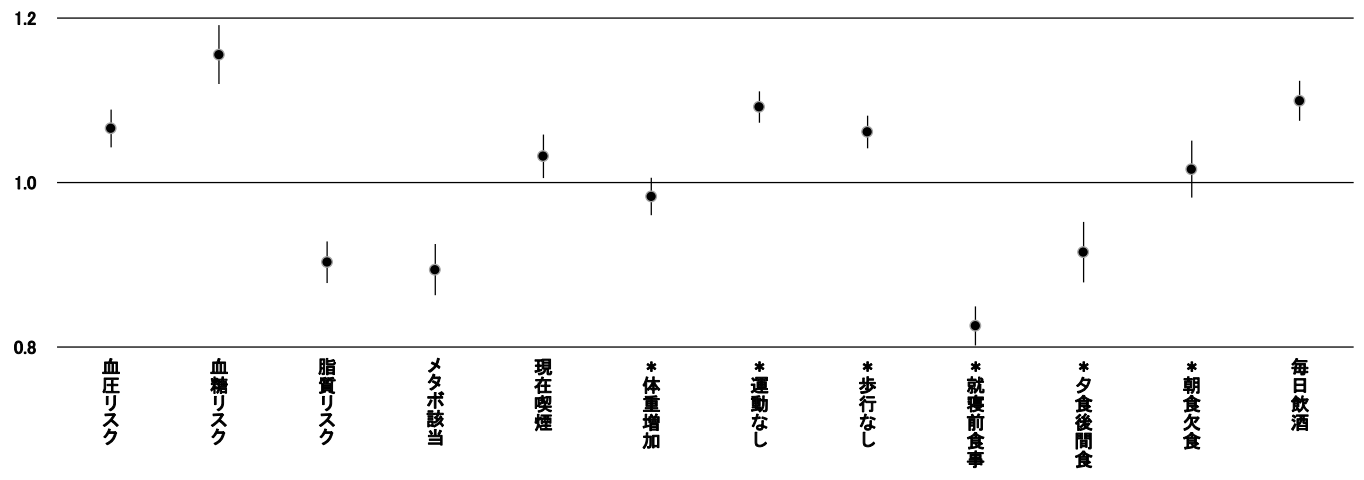
項目	男性				女性			
	標準化 該当比	95%信頼区間		P値	標準化 該当比	95%信頼区間		P値
		信頼下限	信頼上限			信頼下限	信頼上限	
血圧リスク	1.03	0.98	1.07	$2.27 \times 10^{-1}$	0.98	0.94	1.03	$4.60 \times 10^{-1}$
血糖リスク	1.09	1.03	1.15	$3.52 \times 10^{-3}$	1.26	1.18	1.34	$<1.00 \times 10^{-4}$
脂質リスク	1.01	0.96	1.07	$6.17 \times 10^{-1}$	0.94	0.88	1.01	$1.06 \times 10^{-1}$
メタボ該当	0.95	0.89	1.01	$1.23 \times 10^{-1}$	0.93	0.83	1.04	$2.21 \times 10^{-1}$
現在喫煙	1.06	1.01	1.11	$2.89 \times 10^{-2}$	0.74	0.67	0.82	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 体重増加	1.01	0.97	1.06	$6.77 \times 10^{-1}$	0.99	0.94	1.05	$8.08 \times 10^{-1}$
* 運動なし	1.04	1.01	1.08	$1.51 \times 10^{-2}$	1.03	1.00	1.07	$4.35 \times 10^{-2}$
* 歩行なし	1.02	0.98	1.06	$3.98 \times 10^{-1}$	1.02	0.99	1.06	$2.29 \times 10^{-1}$
* 就寝前食事	0.84	0.80	0.89	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.87	0.81	0.94	$6.04 \times 10^{-4}$
* 夕食後間食	0.97	0.90	1.05	$5.08 \times 10^{-1}$	0.91	0.85	0.98	$9.33 \times 10^{-3}$
* 朝食欠食	1.04	0.97	1.11	$2.52 \times 10^{-1}$	0.90	0.82	0.99	$3.54 \times 10^{-2}$
毎日飲酒	1.08	1.03	1.13	$4.46 \times 10^{-4}$	0.75	0.69	0.82	$<1.00 \times 10^{-4}$

(上記グラフと表は、平成27・28・29年度 市町村国保 及び 協会けんぽ 特定健診結果合算データによる)

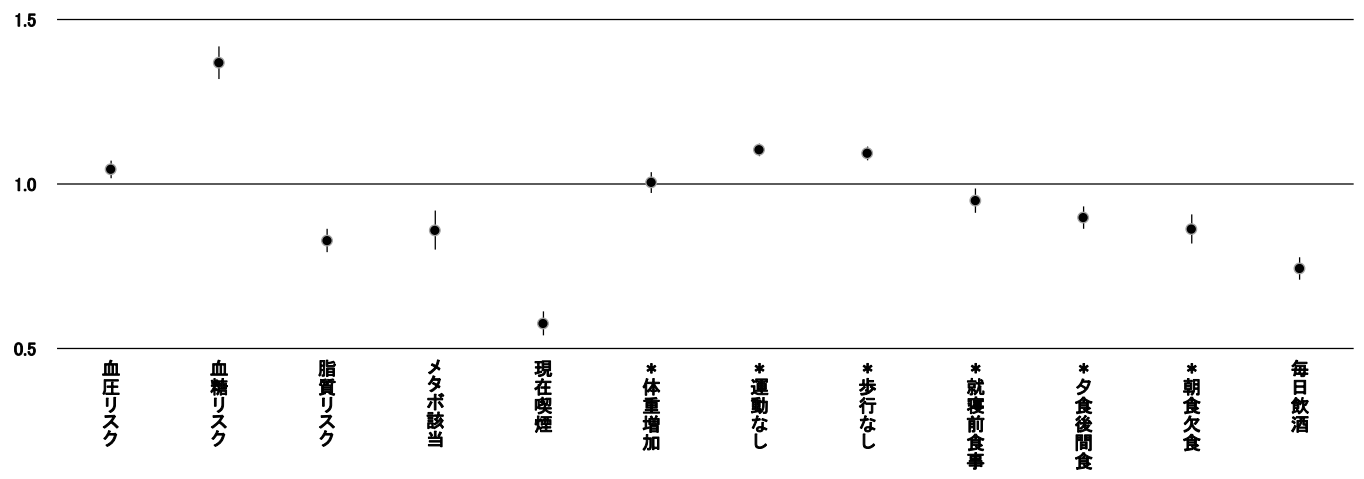
・\* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。  
 ・標準化該当比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化該当比]倍」と解釈する。すなわち、標準化該当比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。  
 ・グラフ中のエラーバーは95%信頼区間(CI)であり、計算により求めた標準化該当比の推定精度を表す。CIが狭ければ精度は高く(実際の値に近く)、広ければ精度は低い(実際の値から離れている恐れがある)。

# 京丹後市

京丹後市 標準化該当比(男性)



京丹後市 標準化該当比(女性)



項目	男性				女性			
	標準化 該当比	95%信頼区間		P値	標準化 該当比	95%信頼区間		P値
		信頼下限	信頼上限			信頼下限	信頼上限	
血圧リスク	1.07	1.04	1.09	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.04	1.02	1.07	$1.11 \times 10^{-3}$
血糖リスク	1.16	1.12	1.19	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.37	1.32	1.42	$<1.00 \times 10^{-4}$
脂質リスク	0.90	0.88	0.93	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.83	0.79	0.86	$<1.00 \times 10^{-4}$
メタボ該当	0.89	0.86	0.93	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.86	0.80	0.92	$<1.00 \times 10^{-4}$
現在喫煙	1.03	1.01	1.06	$1.71 \times 10^{-2}$	0.58	0.54	0.61	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 体重増加	0.98	0.96	1.01	$1.46 \times 10^{-1}$	1.00	0.97	1.04	$8.00 \times 10^{-1}$
* 運動なし	1.09	1.07	1.11	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.10	1.09	1.12	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 歩行なし	1.06	1.04	1.08	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.09	1.07	1.11	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 就寝前食事	0.83	0.80	0.85	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.95	0.91	0.99	$8.66 \times 10^{-3}$
* 夕食後間食	0.91	0.88	0.95	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.90	0.86	0.93	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 朝食欠食	1.02	0.98	1.05	$3.69 \times 10^{-1}$	0.86	0.82	0.91	$<1.00 \times 10^{-4}$
毎日飲酒	1.10	1.08	1.12	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.74	0.71	0.78	$<1.00 \times 10^{-4}$

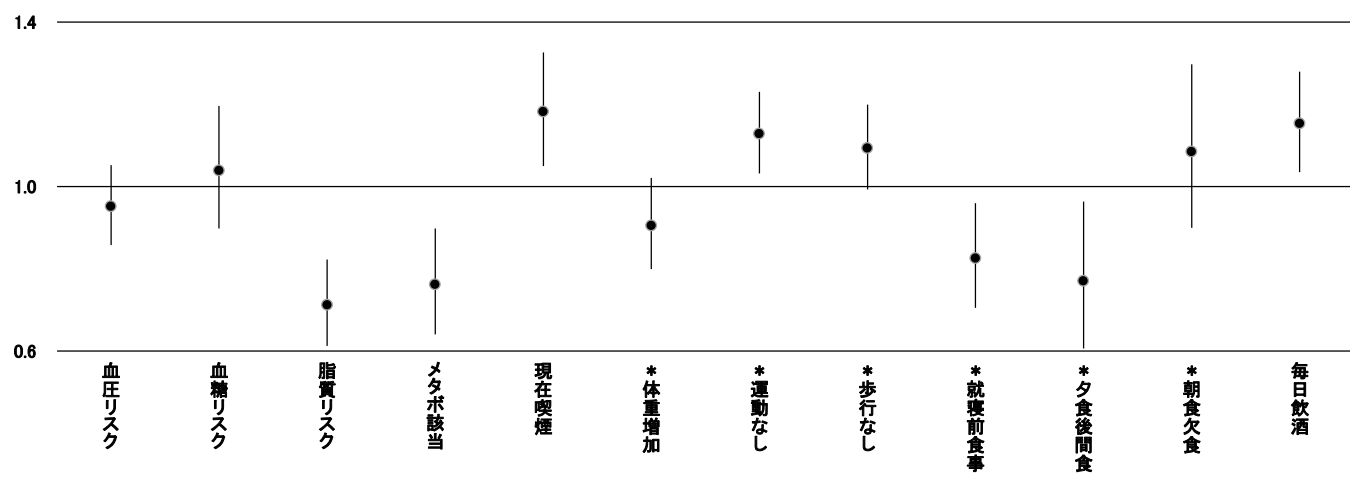
(上記グラフと表は、平成27・28・29年度 市町村国保 及び 協会けんぽ 特定健診結果合算データによる)

・\* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。  
 ・標準化該当比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化該当比]倍」と解釈する。すなわち、標準化該当比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。  
 ・グラフ中のエラーバーは95%信頼区間(CI)であり、計算により求めた標準化該当比の推定精度を表す。CIが狭ければ精度は高く(実際の値に近く)、広ければ精度は低い(実際の値から離れている恐れがある)。

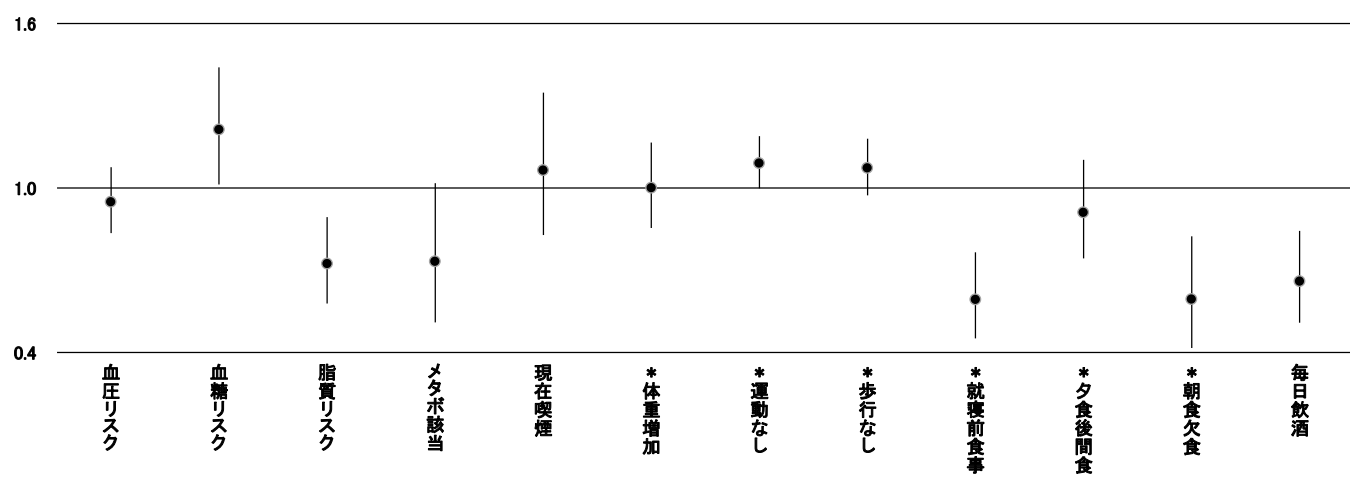


# 伊根町

伊根町 標準化該当比(男性)



伊根町 標準化該当比(女性)



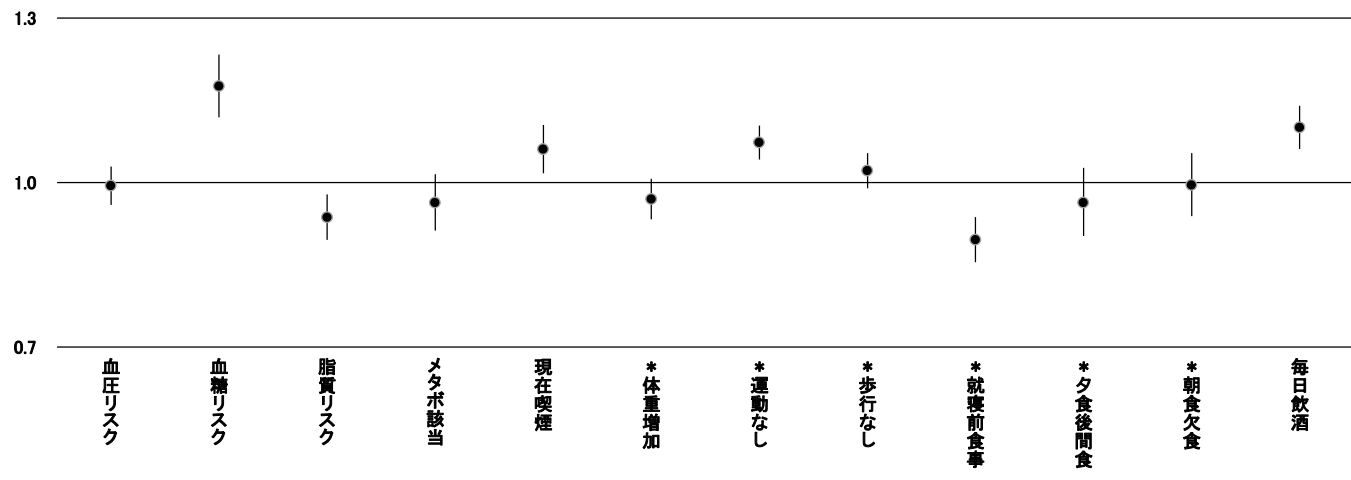
項目	男性				女性			
	標準化 該当比	95%信頼区間		P値	標準化 該当比	95%信頼区間		P値
		信頼下限	信頼上限			信頼下限	信頼上限	
血圧リスク	0.95	0.86	1.05	$3.47 \times 10^{-1}$	0.95	0.84	1.08	$4.36 \times 10^{-1}$
血糖リスク	1.04	0.90	1.20	$6.19 \times 10^{-1}$	1.21	1.01	1.44	$3.11 \times 10^{-2}$
脂質リスク	0.71	0.61	0.82	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.72	0.58	0.89	$3.02 \times 10^{-3}$
メタボ該当	0.76	0.64	0.90	$1.39 \times 10^{-3}$	0.73	0.51	1.02	$7.52 \times 10^{-2}$
現在喫煙	1.18	1.05	1.33	$4.75 \times 10^{-3}$	1.06	0.83	1.35	$6.45 \times 10^{-1}$
* 体重増加	0.91	0.80	1.02	$1.12 \times 10^{-1}$	1.00	0.85	1.17	$9.81 \times 10^{-1}$
* 運動なし	1.13	1.03	1.23	$7.01 \times 10^{-3}$	1.09	1.00	1.19	$5.10 \times 10^{-2}$
* 歩行なし	1.09	0.99	1.20	$6.51 \times 10^{-2}$	1.07	0.97	1.18	$1.54 \times 10^{-1}$
* 就寝前食事	0.83	0.71	0.96	$1.40 \times 10^{-2}$	0.59	0.45	0.77	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 夕食後間食	0.77	0.61	0.96	$2.55 \times 10^{-2}$	0.91	0.74	1.10	$3.63 \times 10^{-1}$
* 朝食欠食	1.08	0.90	1.30	$3.98 \times 10^{-1}$	0.60	0.42	0.82	$2.03 \times 10^{-3}$
毎日飲酒	1.15	1.04	1.28	$8.23 \times 10^{-3}$	0.66	0.51	0.84	$1.00 \times 10^{-3}$

(上記グラフと表は、平成27・28・29年度 市町村国保 及び 協会けんぽ 特定健診結果合算データによる)

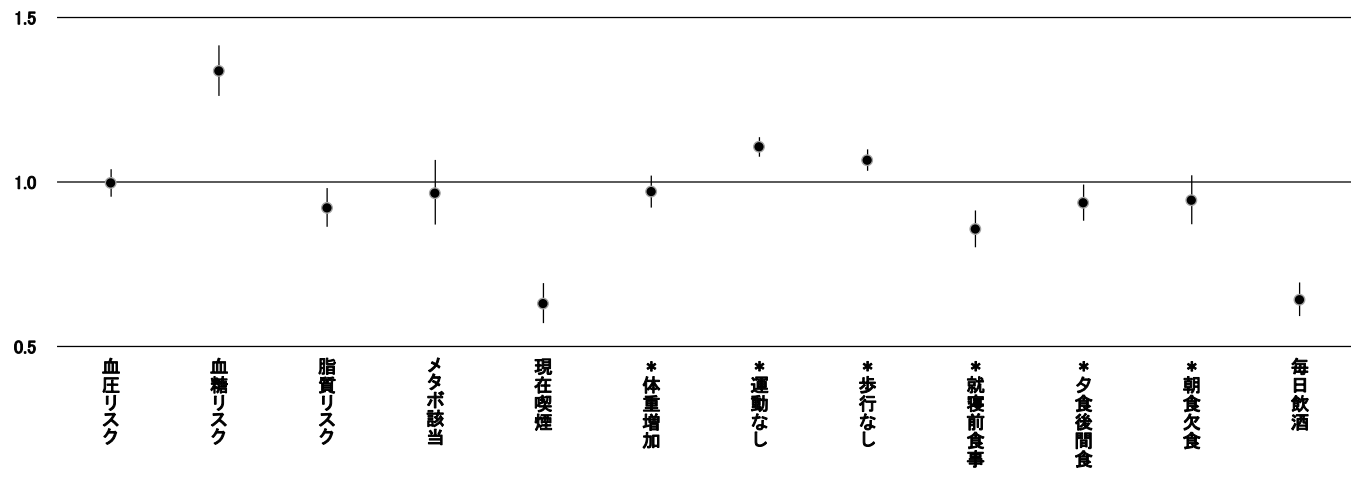
・\* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。  
 ・標準化該当比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化該当比]倍」と解釈する。すなわち、標準化該当比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。  
 ・グラフ中のエラーバーは95%信頼区間(CI)であり、計算により求めた標準化該当比の推定精度を表す。CIが狭ければ精度は高く(実際の値に近く)、広ければ精度は低い(実際の値から離れている恐れがある)。

## 与謝野町

与謝野町 標準化該当比(男性)



与謝野町 標準化該当比(女性)



項目	男性				女性			
	標準化 該当比	95%信頼区間		P値	標準化 該当比	95%信頼区間		P値
		信頼下限	信頼上限			信頼下限	信頼上限	
血圧リスク	0.99	0.96	1.03	$7.37 \times 10^{-1}$	1.00	0.96	1.04	$8.82 \times 10^{-1}$
血糖リスク	1.18	1.12	1.23	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.34	1.26	1.42	$<1.00 \times 10^{-4}$
脂質リスク	0.94	0.90	0.98	$3.65 \times 10^{-3}$	0.92	0.86	0.98	$1.20 \times 10^{-2}$
メタボ該当	0.96	0.91	1.02	$1.66 \times 10^{-1}$	0.97	0.87	1.07	$5.07 \times 10^{-1}$
現在喫煙	1.06	1.02	1.11	$5.42 \times 10^{-3}$	0.63	0.57	0.69	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 体重増加	0.97	0.93	1.01	$1.12 \times 10^{-1}$	0.97	0.92	1.02	$2.45 \times 10^{-1}$
* 運動なし	1.07	1.04	1.10	$<1.00 \times 10^{-4}$	1.11	1.08	1.14	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 歩行なし	1.02	0.99	1.05	$1.87 \times 10^{-1}$	1.07	1.03	1.10	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 就寝前食事	0.90	0.85	0.94	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.86	0.80	0.91	$<1.00 \times 10^{-4}$
* 夕食後間食	0.96	0.90	1.03	$2.58 \times 10^{-1}$	0.94	0.88	0.99	$2.88 \times 10^{-2}$
* 朝食欠食	1.00	0.94	1.05	$8.78 \times 10^{-1}$	0.94	0.87	1.02	$1.54 \times 10^{-1}$
毎日飲酒	1.10	1.06	1.14	$<1.00 \times 10^{-4}$	0.64	0.59	0.69	$<1.00 \times 10^{-4}$

(上記グラフと表は、平成27・28・29年度 市町村国保 及び 協会けんぽ 特定健診結果合算データによる)

・\* 付き項目については、宇治市、城陽市、久御山町で市町村国保データが不完全であるため、3市町を除いた京都府を基準集団として標準化した。  
 ・標準化該当比は、「該当検査を受けた者の年齢構成の差異を加味したうえで、各市町村のリスク該当割合は、京都府のリスク該当割合の[標準化該当比]倍」と解釈する。すなわち、標準化該当比が1より大きければ府と比較して高リスクで、逆に1より小さければ府と比較して低リスクである。  
 ・グラフ中のエラーバーは95%信頼区間(CI)であり、計算により求めた標準化該当比の推定精度を表す。CIが狭ければ精度は高く(実際の値に近く)、広ければ精度は低い(実際の値から離れている恐れがある)。